京城日報

二日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

## ○新宰相就任反對

伯林ローカルアンツアイゲル紙はヘルトリング伯が新宰相たることを承諾せる旨發表せり然れども一社會黨はヘルトリング伯が議會政治に反對し且つアルサス、ロートレン兩州改善に反對せるを以て同氏の就任に反對しつゝあり(アムステルダム電報)

## ○墺帝ゴリッツ訪問

墺國皇帝はゴリッツ市を訪問せり參謀總長ヒンデンブルク元帥も亦ゴリッツ市に在りと傳へらる(倫敦電報)

## ○伊軍退却の原因

伊軍退却の原因は敵の優勢に依るものに非ず伊軍の守備區域の一部に缺陷ありし爲めなり此の地域は從來比較的交戰少かりし所にて伊軍は此の地を攻擊せらるゝ事を豫期せず爲めに前哨よりも多からざる兵を配置せしが爲めなりと(紐育電報)

## ○露國首相の聲明

ケレンスキー首相は代行議會の席上に於て演說して曰く政府は其全力を盡くせるを以て若し露國革命の威信が一部の國民に依りて失墜することあるも其は政府の責任にあらず軍隊の復活は絕望にあらず而して平和を欲する者は先づ吾人が敵の畏敬に値する軍隊を有する迄其希望の實現は前途遼遠なるを思はざる可からずと(露都電報)

## ○國防問題委員會

露國代行議會に於て國防問題討議の爲め四十一名より委員會設けられ該委員は秘密會を開き軍隊の狀態に關するヴェーニン總司令官の報告を聽取せり(露都電報)

## ○英國內相の更迭

英國內相ケーヴ氏は最高法院判事長となり前印度事務大臣オースチン、チャンバーレン氏後任となるべしと(倫敦電報)

## ○米軍隊戰線進出

米國軍隊は既に佛軍の第一塹壕線內に在り(倫敦電報)

## ○英軍の攻擊開始

ヘーグ元帥公報に依れば英軍はパッサンデールの側面に對し攻擊を開始し滿足なる進捗を爲せり(倫敦電報)

## ○伊軍士氣沮喪す

獨墺軍が其の主力を以てヂユリアンアルプスを越え伊墺國境を突破して二十八日ウデネシを占領したるより伊軍は士氣沮喪しゴリデアシの陷落と前後して總退却を斷行し同時にカルニアアルプス方面にある伊軍支隊も東北方に退却中なり伊軍は退却に際しタグリアメント河に壓迫され同河汎濫の爲め退却頗る困難を極めつゝあり(桑港電報)

## ○三菱製鐵組織 兼二浦に支店

今回三菱合資會社より分離し創立せられたる三菱製鐵會社の組織及び重役左の如し

資本金 三千萬圓(拂込金一千五百萬圓)▲本店 東京麴町區八重洲町▲支店 朝鮮兼二浦▲取締役會長 原田鎭治▲常務取締役 堀悌三郞、同三宅川百太郞▲取締役 岩崎久彌、同岩崎小彌太、同江口定條▲監査役 桐島像一、同青木菊雄

尙同時に三菱造船會社創立され資本金五千萬圓にて長崎、神戶、彥島の各造船所を經營する事となれり(東京特電)

## ○金貨本位廿年記念

東京、大阪、名古屋、橫濱、廣島、函館の各地銀行家百三十名の發起に係る金貨本位實施滿二十年記念會は一日午後四時より東京銀行集會所に於て開催されたり松方侯、寺內首相、澁澤男等官民財界の名士二百餘名參集松方侯、田尻子、阪谷男、山崎、添田兩博士、水町日本銀行副總裁等の講演あり終て宴に移り頗る盛會なりし(東京特電)

## ○青濟間夜行運轉

山東鐵道は愈々一日より青島濟南府間夜行列車の運轉を開始せり(青島特電)

## ○學事視察團著連

朝鮮總督府主催滿洲學事視察團は一日午後大連着同夜滿鐵、鮮銀並に東拓主催の歡迎會に臨み二日各學校及び市內を視察し三日旅順に向ふ尙一行中の平壤女子高等普通學校敎諭小松久夫氏は旅中にて腦病に罹り大連醫院に入院せり(大連特電)

## ○東拓總裁哈市行

石塚東拓總裁は二日午前十時哈爾賓に向へり(大連特電)

## ◎府令四件發布

左の府令四件は十一月三日附を以て發布せられ即日より施行の事となれり

▲助產看護婦改規 朝鮮總督府醫院及び道慈惠醫院助產婦、看護婦養成規程中改正の件

▲鑑定通事規定 刑事事件に付き司法警察官に於て呼び出したる鑑定人及び通事の給與に關する件にして全文二條より成れり

▲豫防施行改規 傳染病豫防令施行規則中其一部を改正さる

▲艦船電報取扱 海軍艦船等の發受電報取扱に關する件也

## ◎天日鹽好續

旣に本年度豫想高に對し一割餘增收を示せり

平安南道廣梁灣及び京畿道朱安に於ける官營天日製鹽は秋季に入りても天候順調なるを以て依然盛況を呈し本年四月一日以降十月二十六日までの製產高廣梁灣七千八百六十一萬餘斤、朱安八百九十九萬斤合計八千七百六十一萬餘斤に達せり之を大正五年の同期製產高七千二十餘萬斤に比すれば千七百三十七萬斤即ち二割半の增加を示し更に大正四年の同期製產高五千百五萬斤に比すれば三千六百五十六萬斤即ち七割餘の增加にして又た本年度豫想高に對し既に一割餘の增收を見るの狀況なるを以て本年度製鹽終了期までには本年度は官營天日鹽田製鹽開始以來未曾有の製產數に達す可し

定價本紙 一部金五錢 一ヶ月金五十錢 三ヶ月金一圓四十錢 六ヶ月金二圓七十錢
廣告料金 一行金七十錢
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話 編輯 二三四番 營業 二二六番

## ◎東拓貸出千萬

東拓京城支店金融課の所管に係る十月末日の鮮內貸出現在高は農工債券の引受三百萬圓一般貸付七百萬四萬圓にして合計一千○四萬圓を示し最近初めて一千萬圓を突破する記錄を作れるが此の增加は新東拓法による貸出範圍の擴大より來れるものに非ず大部分は水利事業に對し擴まりたる資金の融通を見たるためなる如し

## ◎滿洲は大工業地たらん

四鄭鐵道と其の延長……北支那の大洪水……二十七年目の京城入り 小田切正金銀行取締役の談

今回奉天以北の滿洲各地並に安東を五六年振りに歷訪して來たが其の長足の發展に

▲一驚を喫した、由來滿洲は種類に於て必らずしも多くないが工業原料は饒多である、又燃料の豐富なのと勞力の低廉なる點より見るも工業の大に起るべき素地を有つてゐる、然るに今日までは多く見るべきものがなかつた。夫れは何故かと云ふに資本の不足と云ふ事に歸する。蓋だ最近の滿洲は製糖、皮革、製肥、製煉其他色んな新事業が豐富な內地資本の輸入によりて續々起つてゐる、これが滿洲各地の景氣を大に盛んならしめてゐる原因と思はる、今後

▲內地の資本 がどの位まで入つて來るかは一寸豫測し難いが、將來滿洲は大工業地に化するだらうと思ふ、更に滿洲各地を歷訪して五六年前と異つたのは浮浪人が薾ひ除けらるゝ如く激減して大なり小なり根據のある人のみ殘つてゐる事だ、これは滿洲の繁榮な發展と云ふ點より見て予の愉快に堪へぬ點であつた、更に予は正金銀行より支那側に資金を供給し支那側は滿鐵より社員を聘して建設しつゝある四平街鄭家屯間の四鄭鐵道も四平街から三江口まで約四十餘哩を視察して來た、何でも全線のレールは年內に敷いて終ふ豫定らしいから其の全部の

▲營業開始 は明春であらう又鄭家屯から洮南府への延長も其の金融關係とも問題となつて來る又必要でもある、資金の出所としては之れを日本側に求むれば決して困難でもあるまい、尤も支那側には洮南府より鄭家屯から開魯の方に伸ばして欲しいと云ふ意見もある樣だが比較調査したら何れを撰ぶが利益かは問題であらう……北支那の洪水は未だ仲々減じない、天津の日本租界の如きは滿鐵其他の力で排水機關を据ゑ付け目下極力排水をやつてゐる、其の排水が終らぬ內に十一月下旬の結氷期に入つたら

▲日本租界 は存亡に關する危機に瀕するのである、更らに支那側に聞くと何しろ目下浸水しておる地方は約八十縣に及んでゐるさうだ、初めは百八縣であつたが二十八縣だけ減じてゐる勘定だ、其の數の罹災民の慘狀は實に慘澹たるものがある、八十縣と云へば我が日本の九州位の面積がある――支那の縣と日本の郡は略ぼ相同じ――大した洪水ではないが、ために天津貿易の打擊、天津金融界の沈衰は非常のものである、天津の打擊は日本貿易の大損害である

▲損得問題 は別として人道上より見るも吾が國民は相當の救恤をしてやらねばならぬ……京城には明治二十七年目に入る、丁度今から三十一二年許り前から三四年間京城の公使館に若い外交官として吾輩は勤め盛に氣焰を擧げてゐた、當時京城にゐて南方の全羅忠淸道を一巡したいと云ふのが世の希望であつた、今日から考へると馬鹿らしい話だが、當時の朝鮮は京城にゐて全羅道に行きたいなど云ふと先輩から途方もない事を云ふと云つて狂人扱ひにされたものだつた、當時の知人には

▲國分次官 久水外事課長、山口大兵衛氏等が今も尙ほ健在だ予は幾回となく日本と滿洲並に支那本土の間を往來したが遂に京城には立寄る機會を有たなかつた

## ◎海藻組合認可

釜山在住中村俊松、椙間金三、高山右太郞、山本利吉、岩崎新平、後藤彥太郞、周晶有、秋乃行、金振玉、戶井汴次氏等の內鮮人發起となり木浦海藻水產組合設立後の成績良好なるに鑑み慶南海藻水產組合を設立せんとて當局に對し認可を申請中の處十月二十九日附を以て認可ありたり同組合は木浦の組合と同じく其の目的は海藻の共同販賣を施行するもの多年の弊害たる不正取引を矯正し品質の改良を圖り以て移出檢查を施行し其の聲價を失墜する如き狀態なからしむるにありと

## ◎定例長官會議

二日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下山縣政務總監以下各部長官局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集協議打合せの上正午散會したり

## ◎辭令

十月二十八日附辭令を以て左の如く發表ありたり

朝鮮駐箚憲兵隊附 陸軍步兵少佐 久松[illegible] 平壤憲兵隊附を命ず

同憲兵中尉 齋藤美夫 平壤憲兵隊附を免じ晉州憲兵隊附を命す

陸軍步兵中尉 高永鈞 鏡城憲兵隊附を免じ淸州憲兵隊附を命ず

## ◎佐連線の修理

朝鮮電報の遲延

佐世保大連線の海底電信線は數日前佐世保を距る約五十海里の附近にて故障を生じ不通となりしため滿洲地方と內地間の約三千通の電報は京城經由の外なき事となり從つて朝鮮內地間の電報は著しき遲延を免れざるべし又其の修理は目下遞信省修理船は二隻共新那覇水間海底線修理のため出航中に付同省にては至急修理の手續中に付近く修理に着手すべきも材料其他の關係あり尙ほ全通までには十日以上を要すべしと

## ◎大邱河陽間運轉

朝鮮輕便鐵道大邱河陽間は工事竣成し十月三十日開通試運轉を爲したるが當日は午前十時五十分汽罐車二輛客車等二輛貨車二輛を連結したる列車に檢査官佐藤鈴木武官兩氏搭乘し大邱驛發河陽に向ひたるが一時間の最大速度十五哩を以て疾走し殊に琴湖江橋梁の際にもその速力を緩めざる程にて兩檢査官の試乘の結果良好なりしを以て同日午後二時河陽驛より支障なき旨管理局に打電し同夜九時四十分營業假認可の指令を發し一日より運轉を開始したり(大邱)

## ◎鐵原品評會

江原道北部五郡聯合畜牛及び農產物品評會は十月廿九日發會の豫定なりしも都合に依り十一月三日より向ふ三日間開催する事と變更せり當日は李江原道長官及び總督府勸業模範場技師の臨席あるべく尙鐵原協贊會に於ては聯合各郡に對し招待狀を發し多數の來賓者を迎へ以て本會の盛況を圖らんと奔走しつゝあり而して開會中は朝鮮角力、煙火、提灯行列、妓生手踊等の餘興を催す計畫にて已に夫々準備に著手したるが之等の經費として約九百餘圓を計上したりと

## ◎米國武官來期

駐日米國大使館附武官ボールトゥキン大尉は此の程陸軍大臣の許可を受け滿鮮軍隊視察の爲め十一月二十日東京發二十二日入京の筈となる同人は入京後市內及び軍隊を視察し十二月十二日東京歸著の豫定にて滿鮮各地を視察の筈なり

## ○外字新聞の毒筆

北京タイムス、ガゼット、デーリーニュース等の外字新聞は日本の兵器借款鐵鑛問題等に關し盛んに毒筆を揮ひ日支親交を阻害せんとしつゝあり此の裏面には北京に歸れる勃國公使の活動與れりとて在留邦人は憤慨しつゝあり(北京特電)

## ○吉林問題解決か

吉林省獨立問題は新任督軍と傳へらる田中玉の進任を二箇月延期するの條件にて無事解決すべしと傳へらる(奉天特電)

## ○兩軍衝突と增兵

四川重慶附近にて衝突し鐵道の兵は一地點を占領し雲南軍は瀘州方面に退却したり四川湖南の陸軍部は四川湖南に夫々援兵を送る爲め補充として黑龍江省內に四師の新兵を募集し三月內に二箇師團を增設す可し(北京特電)

## ○三氏褫官逮捕令

四川雲南軍司令黃毓成、顧品珍、趙又新の三氏に對し官位を褫ひ逮捕す可き大總統令出でたり而も其の唐繼堯氏に及ばざるは裏面に中央政府との間に何等かの交渉あるものと察せらる(北京特電)

## ◎富士英氏張宴

京城駐在支那總領事富士英氏は三日午後七時より京城ホテルに駐在各國總領事並に久水外事課長等の外交團員を招待し晚餐會を開く由

## ◎松永道長官視察

松永京畿道長官は山內書記を隨へ二日管下新面制施行の地方狀況視察の爲め永登浦に出張せり

## ◎中村檢事長復命

米國に出張中なりし京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は去月二十八日歸任せしが氏は二日午前九時總督府に總督政務總監等を訪ひ歸朝の挨拶並に復命を爲せり

## ◎石塚總裁消息

大連旅順方面を訪問中の石塚東拓總裁一行は二日長春著今後吉林哈爾賓方面を往復し更に天に下つて北京に向ふべし

## ◎板東警務官就任

新任の板東警務官は二日午前九時總督府に出頭辭令の傳達を受けたる後各部長官局長等を歷訪して就任の挨拶を爲したり

## ◎小田切氏動靜

滯京中なる正金銀行取締役小田切萬壽之助氏は二日午前十時總督府に長谷川總督、山縣政務總監、久水外事課長等を訪問し午後は官邸を訪へる後自動車を驅つて仁川に赴き築港其他を視察したり

## ▲鮮銀の招宴

朝鮮銀行にては二日午後七時より千代本に入京せし小田切正金銀行重役を招待し久水外事課長、古城管理局長、梅溪氏等を陪賓として饗せり

## ▲韓氏邸張宴

漢城銀行專務取締役韓龍氏は三日午後七時より小田切正金銀行取締役を招待し饗應を催す由

## ◎切田太郎氏歸朝

元京城醫學校の敎諭に在りし切田太郎氏は久しく米國に赴き居りしが此程歸朝し東京日本橋區堀江町一丁目九番地大木方に滯在中なるが近々來鮮す可しと

## ◎久保田旅順驛長

滿鐵旅順驛長久保田金平氏は去る三十一日入京滯在中なるが二日は開城を觀察せりと

## ◎秋山博士へ記念品

[illegible]秋山雅之介氏に對し同氏在職中の功勞を謝し且つ公私の交誼を記念せんが爲め總督府內各部長官局長等發起となりて記念品を寄贈す可く有志者の醵金を求めつゝあるが醵出の振り合は二圓、一圓、五十錢の三種にて希望者は十一月二十日までに參事官室大塚參事官宛送附されたしと

## ◎佐藤軍醫監大田出張

軍司令部軍醫部長佐藤軍醫監は衞生業務査閱の爲め一日夜龍山驛發大田步兵第七十九聯隊に出張したりと

## ◎丹羽清次郞氏歸期

滿鐵京城管理局囑託丹羽清次郞氏は米國へ赴き居れるが十月九日シャトル發の丹波丸にて歸朝す可しとの報あり

## ◎正誤

一日夕刊釜山南通列車とありしは釜奉直通列車の誤りに付き正誤す

## 人事

▲ホーイブラン公爵一行 一日午後[illegible]朝鮮ホテルへ
▲リケツト氏(京本鐵道技師長) 同上
▲尾崎元次郞氏(代議士) 一日安東縣方面へ
▲谷岡與七氏(平壤分隊長) 一日午後入京
▲ジェファアード氏([illegible]) 二日[illegible]
▲飯田精一氏(代議士) 二日京城發
▲松井民治郞氏(平壤商業會議所) 同上
▲小池元司氏(久原鑛業南浦製煉所長) 同上
▲岡田[illegible]氏([illegible]記者) 二日朝入京
▲尾崎[illegible]氏([illegible]) 一日夜[illegible]
▲[illegible] 前日夕刊に入京とせしは誤り

## 彼れ此れ

○獨將マッケンゼンが、八十萬の手兵を提げ、一氣に伊軍を蹂躙せしは、其の目的たる、伊國の講和熱を增加し以て、伊國戰場の聯合軍攻擊を牽制し、佛白戰場の聯合軍攻擊を牽制し、墺國との乖離を防ぎ、同盟國の一員を、柔弱にするに在らん。而して戰爭は更らに長期に亙るべし。此際切に望ましきは、露軍の復活也。敗れたりと雖も、意氣尙壯なる露兵と、墺利を衝くは、露軍の責任に非ずや。

○獨軍の伊軍に對する攻擊は、一層猛烈なるものありたるが如し。元來獨逸の、敵を眼指すは、英國にして、癪に觸るは伊國也、即ち中歐同盟國たる伊國が、同盟に反して、今次の大戰に、敵方に廻りたるは、獨逸人の、如何にも癪に觸り、無念骨髓に達する處也。獨逸公報の如き、公然伊太利と書かず、元の同盟國と書し、頗る嫌りつゝありたるが故に、伊軍に對する、獨軍の意氣は、更に一層加はりたるものあるべし。さあれ元の女房が、不義をせしとて、左程憎むべき義理のある、獨逸にも非ざるべきに。

□山口より 林一藏

遂に菊と相成り、入京所新を覺え申候、小生の風懷御一粲に供し候。

輪を跳ぐ月を氣にする菊主

自働車 二臺(但八人乘一臺)
ダライ盤 (但八尺一基)
ボール盤 (但高さ七尺一基)
右至急買取す御希望の方は左記へ御來談を乞ふ
京城黃金町二丁目一四八
岩田仙太郞 電話二九四一番

鐵砲は
横濱の金丸銃砲店に限る
(西村商會)
御望みの銃砲名例へ洩れなく取揃へ[illegible]

京城本町二丁目
川合時計店
電話二九一八
振替京城一二二九

購買
精米 大麥
詳細は朝鮮官報[illegible]十一月二日以降
龍山 陸軍倉庫

購買
[illegible]
詳細は龍山[illegible]朝鮮官報[illegible]十一月三日以降
陸軍倉庫

公告
一、信川地方金融組合登記事項中[illegible]
[illegible]
右大正六年十月[illegible]日登記
地方法院載寧支廳

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ
定價十五錢 郵税二錢
發賣元 京城日報社代理部 振替三〇〇番

# 斯う幅が利いては 資本家も政治家も その前には頭が擧らぬ

勞働者專橫の米國

米國は勞働者專橫の國で資本家も政治家も宗敎家も勞働者の前には頭が擧らない、從つて勞働者の幸福は過分に保護され生活は確實に保證されてゐる、假令ば勞働者宿泊所は政府及び

□政府の補助 を受けつゝ有る團體に依つて到る處に設立され數千人を容れ得る者も珍らしくなく政府事業の職業仲介所には毎日數千人の勞働者が詰め寄せて職を求めるが殆ど凡て其の六割は就職する事が出來る低利融通の質屋も又政府事業として經營され居るが

□利息は六分 で期限を一ヶ年とし期限が切れても相當期間は保管して置くから日本の下層民の如く高利貸の橫暴に泣かされる樣な事は殆んどない尚勞働者の自衛機關としては勞働組合があつて宜く資本家の專恣壓制を牽制し

□同盟罷業等 に依る失職者は之れを扶助して何處迄も勞働團體の利益を保護する外に宗敎家は博愛傳道を標榜して養老院や救貧所等を設立し識者は社會問題から勞働者を保護す可しと叫ぶなど政治上にも宗敎上にも將た社會上にも勞働問題は常に重大視されてゐる斯樣に

□厚い保護を 受けつゝ有る勞働者は非常に幸福で彼等は社會的位置の加はると共に品性を高め智識も又大いに向上しつゝ有る事は爭ふ可らざる事實であるが然し保護厚きに失すれば自活力を減退し恩顧に狎るれば却つて弊害を醸す如く彼等は斯る社會的優遇に

□滿足せない 許りか更らに其の厚からざるを憤ると言ふ風で今や資本階級や政治家や智識階級では彼等の跳梁跋扈の甚しきに手を燒いて居る、それのみでない勞働者の大部分は生活が極度に保護されてゐるから自然怠けるの使用者の待遇に對して不滿足であれば他人の迷惑などは構はずにどしどし罷めて了ふ、其の結果無職浮浪の徒が增加するに從つて

□賭博や竊盜 が多くなる、勞働者保護に依つて惡む可き下層民を救濟し社會の安寧と幸福を增進し風紀を改善せんとする根本の目的も結局何の爲めに與る施設をしたのか判斷に苦しむ樣な現象を呈しつゝ有る犯罪者の如きも前述の如く全人口の百分の二と言ふ高率を示して居るが此等は何れも勞働者の犯罪が

□大部分を占 めて居る、犯罪を防ぐ爲めに種々な施設はあつても一度社會的の厚い保護に狎れ之に中毒した者は初犯で全然改悛する樣な事はない米國は今や勞働者の爲めに足重くして身體の運動が自由にならぬ樣な破目に陷りつゝ有る（中村彌六氏談）

## □皇后宮行啓

皇后陛下には二日午前九時上野なる化學工業博覽會及び日本漆工競技會に行啓午後三時還啓あらせられたり（東京特電）

## ◇名譽の御前揮毫

秋氣爽かなる廿九日　皇后陛下には豫て仰出されし如く午前九時御出門上野の文部省美術展覽會を御覽あらせ給ひ正午第四室なる御前揮毫室へ成らせられ畏くも各筆者の前面に玉步を運ばせ給ひて御上覽ありしと承はる、光榮に浴せしは廣業「十畝」北海「玉堂」翰音「寒翠」翠雲等、審査員諸氏に特選の清方、百穗兩畫伯特に選ばれて此榮譽を擔つた寫眞は當日『牧童』を描いた平福百穗氏（右）と『松島』を描いた鏑木清方氏（左）

大阪期米（二日後場）

當限 二十三圓七十八錢 [illegible]

四十三錢より二十三錢先三十三四錢十五錢 [illegible] 大阪五十一錢の入電なりしも買 △先限 一節十九圓三十八錢七錢

前場 寄付 十九圓三十八錢 正メ 十九圓三十四錢 [illegible]

八時四十五分釜山入港高麗丸 [illegible]

# □秋の金剛

■重石の採掘■ 古城菅堂氏談

牧山代議士、中川後氏及び矢澤東洋生命保險會社京城支店長等と共に金剛山及び三井鑛業精錬所を視察して歸りたる古城菅堂氏の談に曰く

自分も永年朝鮮に居るが金剛山を觀たのは今回が始めてゞある。金剛山は成る程聞きしに優る

□天下の絶勝 である、之は自分が今更ら吹聽する迄もなく佛蘭西で多年畫を勉強した高木畫伯の如きも七回金剛山へ行つたが一度も筆を取る事が出來なかつたといふ程の大した景色である。金剛山の秋は恰度今まが闌で山悉く是れ絶大なる

□一幅の名畫 である。紅葉黃櫨濃淡の色彩が鮮なる所へ常磐木の綠が其間に枝を交へて五彩の配合が極めて美くしく殆んど去に忍びぬといふ形容詞は金剛を觀た時に於て始めて意義を爲す言葉であらう。更に聞く所に據れば春から夏に懸けては到る所の山溪飛瀑、碧潭等に

□水の趣きを 味ふ事が出來て、例令へ白雲紅葉の眺めはなくも水色山容の掬すべき風情があるといふ。併し乍ら此の美趣を成可く多數の人に見せるのには、道路が險岨で交通の便が著しく惡い爲めに老人や女子供又は病人抔は折角であるが、何うも行き難いと云ふ困難がある。併し之は

□今度の觀光 で發見したが、金剛山全體の中に隨分枯木がある樣であるし、更に又た密林で間伐を要すべき個處も尠くない、是等を財源にして一日も早く安上りで何んな足弱の者にも探勝が出來る樣にしたいものである。次に金剛山附近に

□廣大な鑛區 を有し目下盛んに重石の採掘に從事してゐる三井鑛業部の現況を視察したが同鑛山は世說の如く有望に相違ないが唯一つ困難なのは交通の便を缺く爲め鑛物の運搬は人肩に據る外がなく爲に厖大な運搬の人夫が

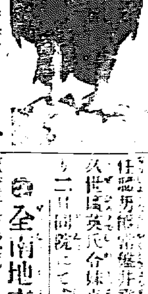
□長箭までの 道程五里は其內僅かであるが上に不便なる道路は其搬運に過ぎない、故に之を搬送する點に於て多くの不便あるは免れない、尤も採鑛地より鑛石運搬用の鐵索（龍釣瓶の如きもの）にて搬送する裝置）があるが例の盜伐事件勃發の爲め

□途中の樹梢 を拂ふ事を禁ぜられあるので目下用を爲さざる不便がある要するに同重石精錬所は有望なるには相違ないが運搬及び作業上に於て尠なからざる支障あるは同情に堪へない

## ◉引越荷物に嬰兒の木乃伊

橫濱市木牧町銀行員伊藤武郎方の飼犬が先頃嬰兒の木乃伊を啣へて振り廻しゐたる事あり所轄署にて嚴重取調べ中の處右は武郎の妹與野隆子（二七）が大正三年中東京本所區番場町銀行員山下光應方へ嫁ぎしも同年離婚のまゝ離緣されなり其れより朝鮮にて女敎員を奉職中四年九月嬰兒を分娩せしも困り壓殺の上死體を油紙に包み、足掛三年間所々を持廻り本年七月末前記伊藤方に落付き八月中頃て小林孝子と關係ありて揭小三郎方へ仲働きに行く際支箱の中に忘れ置きたるものなりき隆子は二十四日逮捕檢事局へ送られたり（橫濱）

## □昌慶苑の大鷲



此の程は昌慶苑動物園にて飼養しゐる長谷川總督寄贈のイヌワシ（紅頭鷲）でありますこの鷲は世界到る所に產する大鷲で羽毛は全身紫光を帶びたる黑褐色で頭に黃褐色の部分があります特色は御覽の通り脚の根元まで恰度ステ、コパッチでも穿いた如うに毛が被ふさつて居ります今より二週間ほど前成鏡道の甲山で獲れたものであります。

## ◉京倶發會式

京城倶樂部にては三日午後一時より同部に於て發會式を擧行し萩田總務局長の挨拶あり式後活動寫眞、手品、講談等の餘興ある筈なるが當日は各部長官局長等をはじめ會員一同出席す可く同倶樂部にては二日會員に對し夫々招待狀を發せり

## ◉豹に咬殺さる（大阪特電）

慶尙南道州郡安定面署洞に二十一日午後二時頃一頭の大豹現はれ遊步中なる小童の群れを襲ひ一人に重傷を負はせたり又同日午後四時同面南里にも豹現はれ遊戯中なりし金洛慶（六）を五丁許りの山中に拉し行きて咬殺したるが二十二日官憲にては豹退治を擧行したり

## ◉虎狩隊の先發

松昌洋行の朝鮮虎狩隊先發隊課長飯島公義氏は二日午後三時東京發朝鮮に向へり（大阪特電）

## ◉對馬沖の海軍演習 海軍飛行機隊釜山を通過す

對馬沖に於ける海軍演習は目下開催中にして一日夜は殷々たる砲聲を巨濟島方面に聞くを得たり 參加する飛行機隊は二日釜山を通過し演習地に向ひたり（釜山電話）

## ◉娼妓自殺騷ぎ

京城新町六番地貸座敷業［illegible］方抱娼妓伊藤千代子（二三）は一日午前八時頃洗濯用帶にて縊死を企て曾て遂極めて少許を仰ぎて自殺を企て今にも絶命するが如く騷ぎ立てて家人を驚かしたるより急報に接し警官及び新町病院長馳け付け取調べしに何等異狀なく又何物をも仰ぎ居らざること判明したり原因は判明せざるも樓主と不和を來たしたるより自暴を起して自殺を企てし旨申し居るも全く狂言自殺の如き模樣なりと

## ◉高田派住職慶事

伊勢國河藝郡一身田村高田派本山住職常磐井堯猷師の［illegible］久世通章氏令妹貞子（二一）と二日同院にて式を擧げたり（大阪特電）

## ◉全南地方に降雹

全南谷城地方にては去二十九日午前十一時頃十五分間に亘り大粒の降雹あり農作物に多少の害を與へたる如しと又同日午前十一時頃求禮地方にても約五分間の降雹ありたり

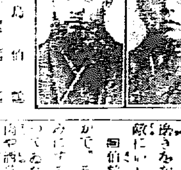
## ◉京仁線の故障

一日午後八時二十六分南大門驛に到着すべき仁川發の列車は途中機關車故障の爲め梧柳洞附近にて脱線し約一時間半遲延したり

## ◉慶北の初霜

[illegible]

## 團十郎會を聽いて 浪花節の伯鶴貞吉の講評



[illegible]

## ◉潜航艇の秘密 有樂館に上場

寫眞界空前の好評を博したる大寫眞潜航艇の秘密二十卷は愈々來る五日より九日まで前篇十日より十四日まで中篇十五日より十九日まで後篇を前後十卷宛三回に亘り映寫することに決定せるが同寫眞は

△最も新式の潜航艇を利用して米獨式の例の破天荒の大仕掛の下に撮影せられたるものにて活動寫眞として新機軸を出せるもの多く說明辯士は東京より新に招聘し連續寫眞に［illegible］上場すべしと

日本にたつた一つの歌舞音曲專門雜誌 郭樂 毎月一回一日發行 ◉見本御申越次第進呈す◉ 定價金十錢 東京日本橋區室町 木屋號 岡野樂器店

## 灯とも頃し

近頃市中に於て［illegible］の御籤の上より城隍神［illegible］まで引く人から如何程と聞いたら［illegible］の人は『何留召』と答へ、それが大體一錢位しか置かないものであつたが近來は二錢が通り相場になつて、四本引く人は大概十錢も置いて行くのでまた中には十錢も二十錢も置いて行く者もあるから平均二錢五厘が通り相場となつた△それから朔日とか十五日とか乃至二十八日又は其の祭日に多い時には三四十圓の賽錢が上るそうだ

## 讀者文藝（一句五十錢）

△一口噺『其時々の事』

◉讀者『監獄から物を盜み出して捕まつた奴がある』與太『その人間をどこに入れるだらう』（一等） 利川 ふの字

▲讀者『稻が暴落したので成金連が青息吐息だそうな』三太郎『是から貧棒人の天下だな』 京城 江口松花

▲讀者『裁判所で自殺をなした奴がある相な……』與太『餘つ程死刑の宣告が待ちながかつたのだらう』 京城 小雨生

□讀者文藝課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に其上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

# 商況

## 雜報

◉露貨更に激落 [illegible] 八百留 [illegible] 大混亂の狀

◉三品安綿布高 [illegible] 綿布は小安き成行

更に好氣配 九龍は八圓六十錢と一躍二十錢

輸出狀況惑

◉止米氣配 [illegible] 四五十錢

◉木炭は軟調 [illegible]

◉原棉は思惑的に [illegible]

◉支那棉硬化 [illegible]

約十錢方下押 [illegible]

◉砂糖は材料待 [illegible] 七八十錢處迄下落

◉精白小締まる 二十三圓 [illegible]

◉軍隊入札米 二十錢 [illegible]

◉小賣米競爭安 [illegible]

◉可惜暴騰 [illegible] 不可能なる事明瞭 二十圓見當 特許絶對に [illegible]

◉撫順炭値上げ 一噸二十一圓方値上げ更に一圓方 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

釜山穀物（二日）[illegible]

市場雜觀 株と米と麺と異 [illegible]

京城賓客現物特電 [illegible]

東京公債直取引 [illegible]

深川正米特電 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

仁川期米 二日前場（強硬） 四十一錢と十二錢 先十九圓 [illegible]

二十三圓十三錢 兵庫前寄 [illegible]

大阪天候小雨 [illegible]

大阪二節 六十 三錢 五十六 [illegible]

大激戰裡に依然強硬の成行 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 仲買店 電話長三六七 [illegible]

ドデン買越 [illegible] 乾派大手筋に [illegible] 裏面は買旋 利用は賣內 [illegible] 僅かの買物に高く又賣物に安し [illegible]

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

仁川取引所 二日の一月限 [illegible]

白米標準値 二十二圓二十錢

小賣白米 一等白米 二十三錢五厘 二等白米 二十三錢

株式會社仁川米豆取引所仲買人 高田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一〇〇 [illegible]

# 滯貨に對する釜山港の準備（一）

△極力輸送船の準備及倉庫の建造に努む▽
△輸移出貿易上に於ける注目すべき現象▽

朝鮮各地は穀物の出廻時季に差迫つたが此れが移出の方法は如何にすれば能きか船便に據れば例の船腹不足の爲め船價暴騰に因り運賃の關係上到底引合にならず、左れば鐵道便に托するとせば關釜間の連絡輸送の能力に制限せられて昨年の如く

◆釜山埠頭に堆積し亦たこれを收容し得る倉庫の設備が足らず、然らば之れが移輸出の方法は如何にせば能きかとは當業者は勿論鐵道當局者も昨年の停貨當時の狀態に鑑みて種々研究調査を爲しつゝありしに去る八月より南滿鐵道會社に朝鮮鐵道を併合し兩鐵道の統一せられたる結果は滿洲よりの

◆貨物は一層の便を得たる爲め朝鮮鐵道に因るもの漸次多きを加へたれば朝鮮鐵道は倍々廻著貨物の激增するを以て此際釜山に於ける運送方法を改善するの必要ありと爲し先づ去る十月一日より列車の運轉を整理して釜山安東間に於て一個月約九千噸の輸送餘力を設けて一方には共益社及び内國通運會社に對する從來の

◆特定運賃を廢止し新たに一般的特定運賃を制定し且つ釜山打切貨物と内地直通連帶貨物の釜山著運賃を同率と爲したるに又た一方に於ては大阪商船會社及び其他の汽船會社は却て同日より汽船運賃の値上げを發表したるを以て鎭南浦、仁川、群山及び元山方面より内地へ移出する穀物は鐵道を利用すれば之れを汽船にて輸送するより遙かに

◆運賃が低廉となるを以て鎭南浦、仁川、群山及び元山方面より海路内地に移出する京義線、湖南線及び京元線沿道の穀物は次第に鐵道に吸收せらるゝに至るべく殊に從來陸路鐵道に依りて内地に移出したる穀物は運賃の關係上主として連帶輸送に限られたりしも今後は連絡船の輸送力に制限あるのみならず釜山打切運賃を制定したるを以て釜山は益々鐵道廻著

◆穀物を激增するに至ることゝなる、而して釜山港は鐵道運賃の改正、列車の運轉整理及び海路運賃の暴騰に依り之れを鎭南浦、仁川、群山及び元山等に比し輸送上最も有利なるが故に本年の出穀季は昨年以上の盛況を呈し未曾有の穀物來集する傾向あるに係はらず關釜連絡船は定期船五隻と數日前より臨時貨物船二隻を運航せしめつゝあるも一隻の貨物船は曩に小平運輸課長の言明せる如く主として

◆滿洲方面への輸移入貨物輸送に重きを置くものとすれば釜山よりの輸送力は到底昨年以上に左したる超過することなしと見ねばならぬ、今秋の出穀季に於ける關釜連絡船の輸送力を示せば

| | | |
|---|---|---|
| 定期船 | 一日 | 五六〇噸 |
| 臨時船 | 一日 | 二四〇噸 |
| 合計 | 一日 | 八〇〇噸 |

以上の如くであるが之れを臨時船の運航し初めたる本年十月より明年の三月迄の六個月間の連絡船の輸送力を計算すれば合計十三萬八千百六十噸にして其内二割を釜山地發貨物に割き

◆殘り八割を直通連帶貨物に充つるときは連帶貨物は十一萬五百餘噸なり、釜山地發貨物は二萬七千六百餘噸となり（滿鐵營業課調査）斯くの如く連絡船は本年の出穀季に於て十三萬八千餘噸を輸送すれども一方に於て釜山港は單に打切貨物にても十月より翌年三月迄に五萬四千噸の輸送餘力を生じたる故に本年は實に未曾有の穀物來集する見込にして連絡船は其一部分を運送するに過ぎぬから本年は或は却て

◆昨年以上の滯貨を呈するやも計り難きのみならず、昨年の如く主として連帶貨物の滯貨ならば鐵道構内及び棧橋附近に保管することは容易なれども本年は打切貨物を激增する傾向あるを以て到底昨年の如く鐵道構内及び棧橋附近に保管すること能はず勢ひ穀物商は各自鐵道構内及び棧橋附近以外の地に之れを保管し且つ連絡船以外の船舶にて輸送せねばならぬ

# 滿蒙鐵道

## 滿蒙五鐵道の敷設　小田切正金重役談

奉天ヤマトホテル二泊三十日朝經由東上したる正金銀行重役小田切萬壽之助氏の談に曰く『目下露西亞と交涉中なる東淸鐵道一部線の讓渡も遠からずこれが實現を見るべくこれにて滿洲を縱貫せる滿鐵幹線は更らに偉大なる効果を擧ぐべし次に聞ゆる滿蒙五鐵道の一部なる四鄭線は目下殆んど完成に近づき居れるが敷設費は當初五百萬圓の豫算にて借款を引受けたるも時局の爲め物價騰貴の影響をうけ約五十萬圓の豫算超過を來せり、更らに四鄭線に次いでわが借款優先權を確保せるは鄭家屯より進んで洮南に延長する一線にして更に洮南より南滿線と併行して南下し遠く熱河に達す可き一線とあり猶ほ開原より東方海龍に通ずる開海線も同樣にして將來此の線の完成は日支兩國民の滿蒙開發上最も重要なる線となるべし尤も右の三線は目下諸物價騰貴銀價高騰の際につきその敷設に多大の費用を要すべく支那政府も最も苦痛を感ずべく現下は何等の問題となり居らざるも時局解決の上は是非此の借款に應じて五鐵道の完成を期せざるべからず……』と

# 各地の天長節

▲安東　朝來天氣清朗風なく塵埃揚らず市中は悉く國旗を掲揚し獻燈を吊し業を休みて敬慶の誠意を表し奉り皇運の無疆を禱り奉れり安東領事館及び小學校にては午前九時より夫々拜賀式を行ひ安東守備隊は同時刻に於て營庭に集合整列東方に向ひ遙拜式を擧行せり尚安東在留官民は正午過より公會堂に於て祝賀會を擧行したる郵便局員は午前八時より局内に於て更に森安東領事は午後二時よりも外國人を同六時半より邦人を招待して祝賀會を催せり（安東）

▲泰仁　天氣晴朗町内は日鮮人共軒頭に櫻花を挿し紅提灯を以て裝飾し午前十時より小學校庭に於て官民合同祝賀會を催せり會する者百三十名　兩陛下、皇太子殿下の萬歲を三唱し…夜は小學校生徒の旗行列あり夜に入り提灯行列を擧行し町民一般も參加し盛況を極めたり（泰仁）

▲金浦　金浦郡にては郡衙大神宮の前に於て祝賀會を開催したるが官民有志百數十名來會し富田郡守祭主長は一同に代りて開會の辭を述べ李郡守は祝辭を兼て日本の國體萬世一系の皇室と聖上陛下の御聖德、內鮮人一致協力忠君奉公の義務等に付き一場の訓話を爲し一同萬歲を三唱して宴に移り盛況を呈せり（金浦）

▲裡里　朝來快晴で市内各戸の軒頭に掲げられたる國旗の色も一層鮮やかに各官衙及び學校にて夫々擧式あり何官民合同の祝賀會は午前十時より公立小學校に於て擧行板井管理者の發聲にて　聖上陛下の萬歲を三唱し後玄關前にて記念撮影をなして散會、夜は大提灯行列あり市中は火の海人の波と化し湧き返らん許りの賑ひを呈したり（裡里）

▲開城　前々日來の冷氣全く去りて心地よき小春日和、各町國旗軒燈等にて滿街飾を施し今日の佳き日を祝せんとす▲各學校は午前八時より拜賀式を擧行官民有志の參列あり開城神社にては午前十一時より臨時祭典を擧行し官民有志學校生徒等の參列者數千人に達したり一般官民有志の奉祝會は正午祭典終了と共に歡德亭に於て擧行出席者數百名久保山面長開會の辭を述べ祝辭を朗讀し一同　聖上の萬歲を三唱して散會せり（開城）

▲淸州　忠北道廳にては午前九時半より職員一同會議室に於て御眞影奉拜式を擧げ續いて各官廳職員各學校職員生徒在郷軍人赤十字社愛國婦人會員其の他一般奉拜者午前十一時より同構内に於て張道長官の催しに係る奉祝園遊會開催せられたるが來賓出席數無慮五百餘名長官の發聲に一同陛下の萬歲を三唱して式を終れり此日天氣晴朗にして朝來微風だもなき絶好の奉祝日和にて夜に入りては市民の一大奉祝提灯行列あり會衆二千餘何劇塲には餘興の素人演藝會あり市内各商店々頭には生花盛花盆栽の陳列等ありて近來に無き賑盛を極めたり（淸州）

◉大正倶樂部總會　石塚東拓總裁を會長とする大正倶樂部は倶樂部評議員の決議に基き來る三日黃金町貴族會館に臨時總會を開き倶樂部存廢に關し協議すべし（京城）

◉三派聯合琵琶會　過般來滿鮮巡遊の途次入京城中學、鐵道部隊等に於て演奏せる筑前琵琶浪速流の上田浪調氏は今回京城に於ける筑前、薩摩兩派の後援の下に四日午後六時より三笠館に三派聯合琵琶大會を催すべしといふ

◉衛生會素話會　京城衛生會にては四日午後一時より讀書町有明樓に於て素話會を開催すべく番組は三輪、熊坂、松風、鉢木、晉外と鞨鼓輪等あるべし

◉吉田勝次郎氏上京　大日本麥酒京城出張所長吉田勝次郎氏は十二日より東京本社に召集せらるべき同社販賣會議出席の爲五日午後七時五十分發滯在三週間の豫定にて上京すべし

◉栽培學會展覽會　京城三角町私立栽培學會にては來る四日午前十時より生徒製作品展覽會を開催し同校評議員、卒業生父兄其の他有志の參觀を歡迎する由なるが生徒製作に成る草花、盆栽類を陳列すべく希望者には實費頒布する由

◉鍋道樂の新築開業　南山町料理店鍋道樂は今回南山町二丁目鍋屋別莊下に新築移轉せしが一日開き改め來三日より開業せり

# 菊の撰び方と挿法

菊の撰び方は盛花投入では普通生花用の重瓣の菊は好みません、一寸生の單瓣もので花首の抜けない葉の調つた水づくりを第一とし中輪小輪のものは文人菊といつて單瓣で質生の葉の美しいものを撰びます何れも白色もしくは黃色を貴び蕾と半々位に用意致します

◇盛花の挿し方　中輪もしくは大輪ものを十五本か十七本位の正方形の頂點を作るやうな心持ちで地でゆるやかに莖と莖との切り込みをつけて挿口を廣く使つて半傾斜型に挿ます半傾斜と申ます型は餘り傾けず垂直でもなしといつた風な形式で御座います

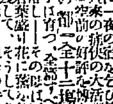
◇賑やかに挿さうと思へば更に文人菊の懸崖つくりのものを二三本添枝のやうに用ひます、添流枝は主型の出る方へ使へば逆流枝型といひ反對の前角へ使へば流枝型と申します、何れにして垂れるやうに挿ますが輪は悉く上方に向かなければなりません、根〆は半傾斜型のときでも流枝の時でも主型に添へて短く挿します菊は大きい輪ほど上に用ひ小菊は下に使ふものですから根〆や流枝は勿論小輪に限ります

◇投入の挿し方　投入は盛花に用ひるやうな大中輪の菊を七本かれ本かを半傾斜型に挿しまして亦文人菊だけで傾斜型下垂型に挿しても面白う御座いませう傾斜型といふのは花器の縁の前方の上下位に主な形式が傾く時、下垂れる型を申します

◇どんな花器が　調和致しますかと申ますと龍が第一で次には古雅な陶器か金屬かでしやう、盛花の方は手付のものが面白く深いものを撰びまして地板へ置きます、投入の半傾斜型の時には地板か花台かへ置いて傾斜型や下垂型の場合には中高又は高い卓へ載せます、此時には籠は用ひませんが横に廣い盛籠が最も良く調和致しませう（某夫人談）

臺所　すりの日

▲スカンボローエッグス　食パン二分厚さ一寸五分位のもの五枚を揚げ…



# 演藝案內

本町五丁目　稻荷座
京城壽町　壽座
本町　有樂館
京城明治町　浪花館
櫻井町　大正館
黃金館

寫眞　京城日報社寫眞製版部

目ニ見ヘテ　ズンぐトキク　シュマズイタマヌ　井上博士ノ　ロート目藥

本舖　東京・大阪・山田安民藥房

解雇廣告　田中達馬

右之者今回都合に依り解雇致候に付今後弊店とは一切關係無之候間此段廣告候也
大正六年十一月一日　京城本町二丁目
和洋金物商　釘本藤次郎本店

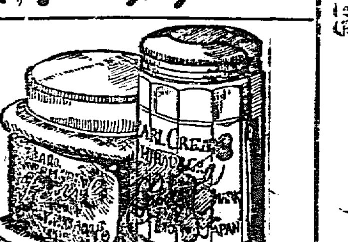
花柳病外科專門　◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉婦人病◉痔病◉神經衰弱◉ヒステリー◉皮膚病
京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六番

蛇印　アンチピリン丸　かぜねつ特効藥

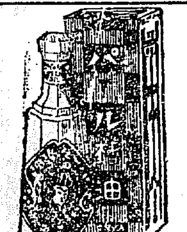
▲求めよ!!　▲用ひよ!!　▲なをる!!
●感冒●ねつ●流行性感冒●頭痛●麻疹●リウマチス●おこり
本舖　大阪・東京　丹平商會

補完せる毛髮油

パール椿油　パールポマード　パール煉香油



發賣元　平尾バール　京東　代理店　平尾レート　大阪



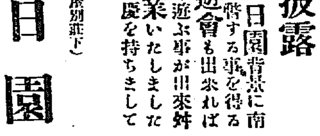
朝鮮名產　金剛飴　京城本町電話四七五番　龜屋

小說　貸本業者諸君御安く致します　樋口隆文館

琴三味線の外今回尺八部を設け竹友社專門家同人大家諸氏の製管ご樂譜の取次ぎ販賣致候
東京市日本橋區室町二丁目　岡野樂器店

種苗販賣　苗木の部　一落葉松一赤松一黑松一山赤楊一魯桑一杞柳細葉種其他　種子の部　一赤松一山赤楊一黑松其他
朝鮮京釜線芙江驛　忠淸農林社　種苗部

新築開業御披露
今迄の鍋道樂を改稱して一日園背景に南山あり、まつた京城の市街を一瞥する事を得る一日園のその廣い庭では園遊會も出來れば家族的にも一日樂しく遊ぶ事が出來升今や新築成りいよ〳〵開業いたしました就ては何卒今迄の御贔負の餘慶を持ちまして御遊の程願はしふ存じます
京城南山町二丁目　一日園　（鍋道樂改）　電話一四九番



京城西小門町二二番地　田中丸病院　院長醫學士田中丸治平　副院長醫師上野和夫　【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり　電話八八五番

灸術廣告　今般有志の懇請により諸病灸治す　陸軍得官大谷先生直傳灸術　池永灸点部
▽難病者各位に告ぐ　灸術の大家池永先生儀今回在鮮有志の懇望に依り來各地に於て一般治療に從事せられ候に付我々有志相謀り暫く當地に於て治療を乞ふ事に致し候就ては一般患者各位の爲め本日より向ふ一週間の所にて一般難症に應ぜられん事を速に先生の治療を乞ひ苦痛を免れられん事を勸め致し候
十一月二日　場所　京城明治町三丁目　日の丸旅館　京城有志一同

仁川期米　二日の十二月限　仁川米豆取引所　連絡船上陸客

| 汽車發著 | |
|---|---|
| 京釜線（南行） | [illegible] |
| 同（北行） | [illegible] |
| 湖南線（南行） | [illegible] |
| 同（北行） | [illegible] |
| 釜山連絡 | [illegible] |
| 京義線（北行） | [illegible] |
| 同（南行） | [illegible] |
| 京仁線（仁川行） | [illegible] |
| 京元線（北行） | [illegible] |
| 同（南行） | [illegible] |

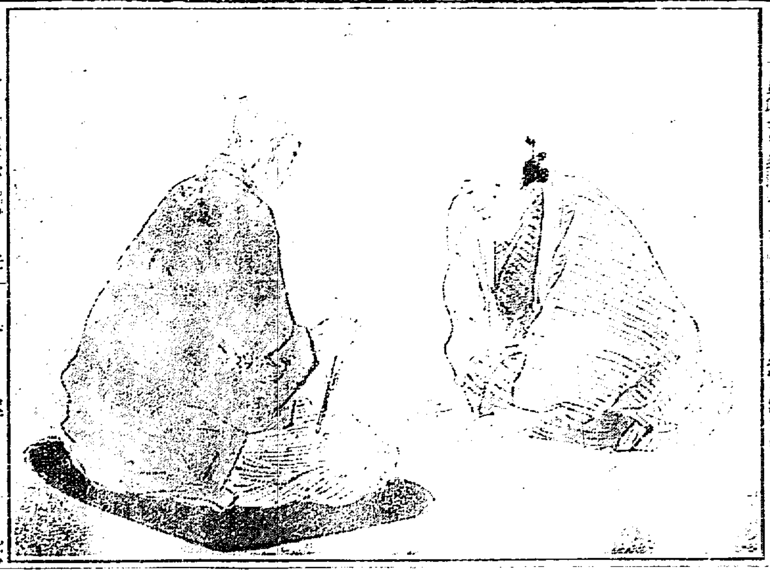
# 左甚五郎

第七十二席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

甚五郎は何を考へたか本淨寺と約束をして其儘立出たが、其足で駿河臺の大久保彦左衛門の屋敷へ出で、彦左衛門に面會を遂げて三五郎の話しをして、洵に氣の毒なことをいたしました、何うも職人の仕事に何う骨を折て遣りましても見る人が見て下さらなければ洵につまらぬものですと聞いた彦左衛門が彦『イヤそれは氣の毒だ』甚『…も不思議だと思召たら何うか…』

早速使を以て表門の欄間へ篏込んだ處の龍を取寄せて置かなければ諏訪町の大工甚助といふ三五郎の者といふのが來た時に差支ると思ふから早速本淨寺へ使を立てもう本淨寺へ行き著たらうと思ふ時分に平間の本淨寺から門跡様へ二人の使者が參りました　本『恐うへで此方より使を出したが會はじませんか』…一向に存じませんか『お前達が來ると知つたら此方で使を出すのではなかつた』

込んで參りましたのが本淨寺の表門の處でございます、此處だく といふ騒ぎだから門前へ出て見ました處が、表門へ此度篏込みました龍でございます　本『ウム』〇『おれが其の夜になりますると龍が暴れ廻るといふことでございまして、そんなことは無いと制しましたが、何うかお取除けを願ひたい、今までにこんな龍が欄間へ入つて居りませんでしたが、確に此處へ來て見失つてしまつたんだと表門の龍の庭に雨降り挿句の様にグショ濡れに相成つて居りました、田はカラ／＼で其の表門の龍の行だけがグチャ／＼になつて居る、取付けましたる處の龍の身體からバタ／＼と碧れの様に水が垂れて居るものですから、是だ／＼と界隈の百姓が騒ぐ、然しお取付けになつたばかりで無暗に取れない、一應和尚様へお伺ひの上でといふので參じましたのでございますが如何いたしたものでございませうと是を聞くと本淨寺もイ思議に思つて　本『それは取除けて置いてくれんければ叶ん、就ては此方から沙汰をするからまア百姓共が騒がん様に取鎮めて置いてくれろ』と吩咐けて使の者を歸しました



かゝれる様に御取計を願ひたい　彦『あゝ宜い甚五郎能く例へに他人の事とは他人がせんければならんといふ其方も仲間の義務で賴まれ、其仕事に就て居らいふことになつたら其方も迷惑いたすことであらう、是は彦左衛門含み置き早速三五郎が門跡の大菩提にかゝれる様に取計つて遣はす、安堵いたせ　甚『有難う存じます』と甚五郎も大層喜こんで直に暇を告げて立歸る、彦左衛門は『彦馬牽け』と云つたが登城勝手の老體のことでありますから早速御登城に相成つて家光公にお目通りをいたして、御機嫌を伺ひ四方八山のお話しをいたして甚五郎の話を申上げ機嫌を待つて甚五郎のお話しをいたして、其の上門跡棟梁のことを上様へお願ひに及ぶといふことに相成つた、偖此方は平間の本淨寺へ

『彦』何にしに參つた』と云ふと使の者は〇『實は此程平間の方は百姓一揆の起つた様な騒でございます　本『ウム』〇『夜に相成ますると火事かと思ふ様な騒ぎあの界隈の畑だの田だのを暴れ廻りますので、百姓は作物に障りがあると云ふので竹法螺を吹立まして松火を點して竹槍鋤鍬を持つて騒ぎ廻るのでですから、何事であらうと段々尋ねて見ますると、田畑を荒すといふだけで何者の所業か相判りませんが、是を差止めやうといふので彼方此方から追廻すが姿も確と相判りません、昨日の朝夜明前に追


**毛皮なめし並に仕立**
鳥獸綱製調進　羽根布團製造修理
毛皮羽毛買入　鳥獸剝製標本
京城本町二丁目　貿易商　樽元商行
電話長三〇九六番　振替京城二二〇九番

**質**　京城太平通二丁目　本多質店
嚴密精々高價御預

**牛乳**　衛生的　御用
京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

十一月四日　九星　舊九月二十日庚戌　本命五黄八白知佛滅
[illegible]

**てんかん**
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治す事の出來た詳しい本を無代進呈す
名古屋市南小川町一　救生館

**賛化病院**　京城明治町一丁目　電話二四番
内科　小兒科　入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

**懐中時計**　新荷著
アンクル・シリンダー・ニッケル側・銀側・金側　腕巻時計
[illegible]
イングレッソール商會
本店京城本町二丁目　電話九七二番

**りん病**
消渇を自宅で秘密になをす方
家傳秘法の妙藥あり同病で困る人助け只一劑を試よ切手三錢送れ自宅療法を詳報す
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

**ヨードホ公膏**
梅毒下疳横痃切疵腫物痔疾等の良藥
本舗大阪東區南中井玉鑑堂
定價　廿錢　拾錢　五錢

**◎月やく**
月やくとまり月經不順の爲何とも工合惡く心配の方一度服んで安全に流經す妙藥私方に有三錢切手封入申込あれ人助の爲お知らせす
東京市四谷區[illegible]　森田　久子

**◎人心看破術　好かれる法**
尾花しぐれ著

男女誰にも好かれる法は交際上必要であります此本は之を誰にもわかり易い様に面白く書たもので商人も勤人も奉公人も人に好れて立身出世する處の鍵、此を讀に此奧の手をお心得へられる珍書…就き其筋から御注意があります…
定價金三十五錢（送料二錢）郵券代用は一割増
東京小石川區[illegible]　振替東京[illegible]

**他に類がなくノリとノビとの優れて好い**
**白さの違ふ點に於て新發見の**
# ホーカー白粉
東京中の白粉の投票に當選第一等を得ました
●自然らしい白さにつく
●ノリノビが一等好い
●肌の營養劑を含む
●ツヤ力が強く化粧崩れがしない
●洗つた後まで白くなる
●肌アレ日ヤケを防ぐ
●匂ひ豊かに艶麗さを増す
定價　一瓶　二十五錢　送料　内地料二錢
最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舗宛御注文下さい
本舗　東京神田　堀越嘉太郎商店

**○ミツワ家庭藥**
處方を公開し責任を明かにせる
ミツワ家庭藥は内容を秘し徒に效能を説く如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關なり
一、處方を公開し内容を明示す。
二、處方的確にして奏效顯著なり。
三、性質劇烈なる中毒作用の危險更に無し。
四、藥品純良にして效力一定不變なり。
五、製劑精確にして變質の憂なし。
六、容器完全にして風化潮解する事なし。
七、包裝嚴重にして携帶至便なり。
八、内用藥は總て錠劑なれば服用容易也。
九、日常起り易き病に對し洗く應用せらる。
一〇、價格低廉にして永く保存に耐ふ。
東京日本橋區橘町　丸見屋商店

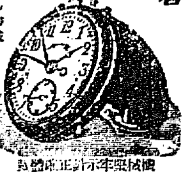
ミツワ家庭藥の効用と定價

| 品名 | 効用 | 定價 |
|---|---|---|
| ミツワ人蔘錠 | 神經衰弱、精力減退等 | [illegible] |
| ミツワ複方人蔘錠 | 動脈硬化、腦溢血、心臓病等 | [illegible] |
| ミツワ健胃錠 | 胃加答兒、胃酸過多、嘔吐、胃痛等 | [illegible] |
| ミツワ消化錠 | 消化を促すべき場合に用ふ | [illegible] |
| ミツワ解毒錠 | 腸胃病を防ぐ、傳染病を豫防す | [illegible] |
| ミツワ緩下錠 | 諸病に因る便秘症、常習便秘症 | [illegible] |
| ミツワ止瀉錠 | 急性慢性傳染病以外諸種の下痢 | [illegible] |
| ミツワ驅蟲錠 | 蛔蟲、條蟲等腸内寄生蟲驅除及豫防 | [illegible] |
| ミツワ清涼劑 | 口中清涼、神身爽快、口中病豫防 | [illegible] |
| ミツワ解熱錠 | 感冒、レウマチス、神經痛等 | [illegible] |
| ミツワ袪痰錠 | 氣管枝炎等呼吸器病一切の袪痰 | [illegible] |
| ミツワ鎮靜錠 | 頭痛、不眠、癲癇等の如き神經の鎮靜 | [illegible] |
| ミツワ婦人藥 | 婦人生殖器病、貧血、諸血の道 | [illegible] |
| ミツワ制酸錠 | 酒の過飲、宿醉、惡心、嘔吐 | 百五十錠　二十錢 |
| ミツワ鎮咳錠 | 百日咳、喘息、呼吸器の一切鎮咳 | 百錠入　一圓五十錢 |
| ミツワ點眼液 | 總て眼瞼及眼球の結膜の諸病 | 點眼器附　十錢 |
| ミツワ鼻病液 | 鼻加答兒、蓄膿症、鼻血等 | 壜入　二十五錢 |
| ミツワ含嗽錠 | 咽頭炎及口中一切の病 | 百五十錠入　二十錢 |
| ミツワ齒痛液 | 齲齒其他一切の齒痛 | 壜入　十五錢 |
| ミツワ鎮痛液 | 打撲傷、神經痛、レウマチス等 | 壜入　三十錢 |
| ミツワ硼酸錠 | 眼病、婦人生殖器病の消炎防腐 | 百五十錠　二十錢 |
| ミツワ撒布藥 | 汗疹、多汗症、表皮剝脱、皮膚糜爛 | 紙函入　十錢 |
| ミツワ泥膏 | 火傷、濕疹、毛瘡、擦過傷等 | 硝子器入　十錢 |
| ミツワ殺蟲液 | 蚊蚤等に螫されたる場合 | 壜入　十錢 |
| ミツワ養毛液 | 脱毛、雲脂過多を防ぐに用ひらる | 壜入　五十錢 |
| ミツワ疣痔膏 | 疣痔、酒渣鼻、毛瘡、白癬、疥癬等 | 硝子器入　二十錢 |
| ミツワ凍瘡藥 | 凍瘡、皮膚龜裂、皮膚の裂・水蟲 | 硝子器入　十五錢 |
| ミツワ制痒膏 | 濕疹、皮膚瘙痒症、火傷、汗疹等 | 硝子器入　二十錢 |
| ミツワ結核錠 | 結核性の諸症、肋膜炎、腹膜炎 | 百錠入　一圓五十錢 |
| ミツワ治淋藥 | 麻疾、膀胱加答兒、尿道加答兒等 | 一圓五十錢 |
| ミツワ洗滌藥 | 淋疾洗滌藥、慢性尿道炎等に用ひらる | 五十錢 |
| ミツワ痔藥 | 痔核、痔瘻、肛門裂傷等痔一切 | 六個入　三十錢 |
| ミツワ婦人座藥 | 白帶下、子宮内外膜炎、腟炎等 | 六個入　四十錢 |
| ミツワ腋臭藥 | 腋臭、陰臭、手汗、足汗等 | 壜入　二十錢 |
| ミツワ頑癬膏 | 頑癬、白癬、濕疹等 | 硝子器入　二十錢 |

**東京帝國大學農科三宅博士發見**
**蛋白　澱粉　脂肪　消化劑**
# プロテアーゼ
是迄の消化劑は多く澱粉質にのみ有効にして蛋白質に對しては未だ理想的のものなかりしが今回帝國大學の三宅博士は蛋白質に對し最も強度の消化力を有するプロテアーゼを發見せり
本品は一種のエンチームにして蛋白質の消化力現代に於て第一位なるが上に澱粉質に對しても其消化力諸種のヂアスターゼに優り尚脂肪分解作用をも兼有す、斯く蛋白、澱粉、脂肪の三種に對し完全なる消化力を具備する大發明は實に本品を以て第一となす
前記の事實は内務省東京衛生試驗所の報告に見るも明なり
胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化剤を服用せられつゝある人は速に本剤を試み其偉効を知れ
粉末と錠劑の二種あり
定價　粉末　[illegible]　錠劑　[illegible]
東京京橋南傳馬町[illegible]
△各地藥店及特約店にあり▽

**最上醤油之元祖**
開業貳百七拾三年
宮内省御用達
ヤマサ醤油
品質本位　香味佳良　色澤優美
永年の使用者に依りて其實質は證明せらるべし
（到ル處有名ナル酒醤油店ニアリ）
千葉縣銚子　濱口　醸

火災てふ文字は將に字書より除かれんとす
安全第一
日本各府縣郡市に特約店を募集す
發賣元　特許[illegible]株式會社
[illegible]

京城日報
三日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

# 支那漫遊
蘇峯生

## 旅順に遊ぶ

十月九日旅順に遊ぶ、九時二十分に該停車場に著し、二時に發す、其間四時四十分のみ、而して此間に於て、一通りの見物の出來たるは、隈部少將、及び旅順驛長久保田氏に負ふ所多し。

予等は中村都督を訪問し、宮尾長官に面會し、白玉山頭の表忠塔に抵り、而陸の戰蹟を展望し、納骨堂を禮拜し、要塞戰記念品陳列所を見、轉じて新市街なる滿蒙陳列館を觀、大和ホテルに於て、隈部少將の午餐の馳走に預り、肅親王邸にて、親王と會見し、夫れより停車場に於て、若干休息の時間を剩したり。吉林に於ける二時間の見物に比すれば、其倍を過ぎたるも、先づ短時間にて、要領を得たるに庶幾し。工科學堂、中學校、女學校等も、略其皮相を一瞥したり。要するに旅順の今日は、軍港としても、要塞としても、苟も我が勢力の滿洲に存せん限りは、殆ど大なる必要を認めざる可し。今日に於て[illegible]、恐らくは所謂る告朔の餼羊の類ならんのみ。

但だ其地や海灣斗入、四圍靜寂、別に一天地を爲し、而して潮濕く、氣温也。之を教育地とし、又た保養地、若しくは遊園地としては、恰も誂へ向きなる可し。今日に於ても、夏期に於ては、外國人の避暑客少からずと云ふ。之を大連に比すれば、何となく市塲より禪堂に入りたるの、心地せり。

## 旅順の誇り

所謂る都督官舍の如きは、山腹にありて、其の眺望絶佳也。予は中村都督に別莊としては申分なし、されど都督の常住としては、定めてお淋しからんと云へば、都督も首肯して實に然りと云へり。何となく鼠にでも引かれ相の屋舍也。關東都督が滿鐵を統裁する今日、彼は何ぞ、此の隱居所にかくまで[illegible]る可らざるの必要ある乎。そは恐くは考へ物ならむ歟。

旅順の誇りの一は、表忠塔なる可し。旅順を圍繞する諸峰の中樞たる白玉山頭に、聳立する高さ六百二十三尺、其の附近に納骨祠あり、其の塔よりすれば、總ての旅順は、所謂る水陸戰爭の地、悉く指顧す可し。其二に、旅順驛長久保田氏なる可し。此の老驛長は、旅順開始以來の驛長にして、戰蹟の說明に、最も練熟す。而して自から云ふ、若し老骨を、白玉山麓、表忠塔下に埋むるを得ば、願ひ足ると。彼は戰跡を保存するに全力を盡くし、而して其の活ける教訓を、我が大和民族に普及せしむるに於て、最も熱心也。蓋し乃木大將に私淑する所ありと云ふ、或は然らむ。予等は隈部少將、久保田驛長等と、表忠塔下に立ち、其の秋霽の空に、紺青の湖水が、眠るが如く靜かに、而して二三の漁舟が、鴎の如く浮ぶやら。諸けたる山頂に、肉眼にも認めらるる廢壘の砲や、十餘年の今日、依然たる蜿々蛇の如き斬壕や、坑道やを眺め、塔下と云はず、道傍と云はず、此の瘠せこけたる地上にも、何ほ秋の裝ひを閑却せざる、五寸にも足らぬ野菊の蕋に、豆の如き黄輪を綴りつゝあるを把り、坐ろに千萬無量の感に打たれたり。

回顧すれば予や明治二十八年五月、故小松總督宮の行に陪し、筆を載せて此地にあり。偶ま遼東還附の報を得て、憤慨に堪へず。僅かに一掬の沙礫を撮り、之を手巾に包み。是れ予が遼東半島なりとて、即日之を携へ、歸京の途に就きたるも、今は一昔、若しくは二昔となりぬ。記念の沙礫は、今尚ほ青山艸堂に在り。然も其の記念の意義は、全く當初と異なれり。本來は無念の記念也、今は國運發展の記念也。人の一念程、畏ろしきものはなし。況んや擧國民の一念をや。

（大正六年十月十日午前六時、大連大和ホテルの客室に於て、方に北京に向はんとするの當日）

# 三代の金石

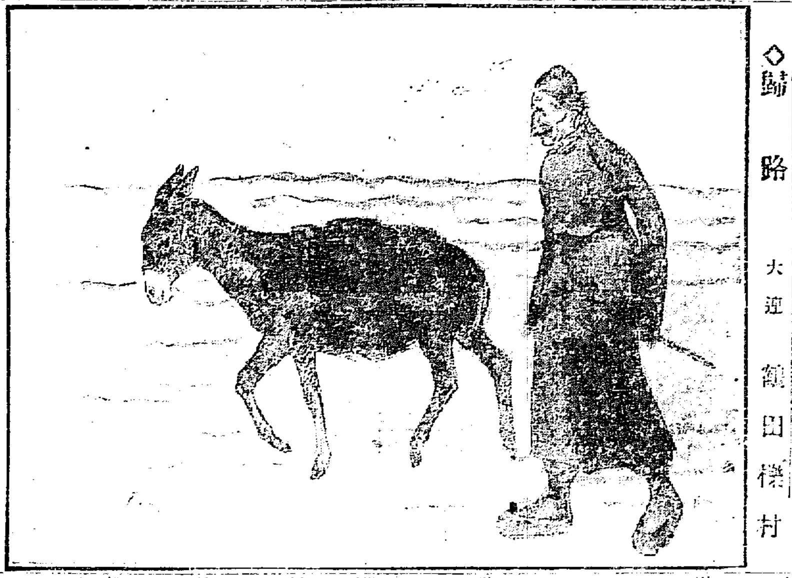
## 一、夏―岣嶁碑

支那の金石に就いて最も古いのは岣嶁碑であります。しかもその字の形が篆でもなく蝌斗でもなくして一種異樣なる上、青い石に赤い字で刻してあるとて、大層評判のあるものであります。

この碑は大約四千年程の前に、夏の大禹が洪水を治むべく南嶽即ち衡山を過ぎた折、衡山の一嶺たる岣嶁山に刻したものと、言ひ傳へられ、その事は隨分古くから書籍に見えて居りますが、唐の時代から急に名高くなりました。かの韓退之の『岣嶁山尖神禹碑』の詩が、いかに當時の好事家を刺激したかは今なほ想像に餘る次第であります。しかしこの時は實物を見たといふ人は全くなかつたのでした。宋の時代になりますと、古器物を尊ぶ風潮が日に高まり、鍾鼎の款識などが頗る流行しました。そこでこの碑も嘉定年間に、ある人が樵夫の路案內で碑の立つて居るところに至り、そして拓本を取つたとの事であります。この拓本によつて石に刻したのが所謂る夔門石でありますが、これは亡佚して見當りませぬ。嘉定年間には今一つ岳麓書院に刻した石があります。因に張季文が長沙で見つけました。朱の大儒朱晦庵、張南軒の兩先生が南嶽に上つてわざ／＼この碑を訪ねられたが、遂に見當らなかつたのは、嘉定代より些しく以前の事であります。

明になりますと、異を立て奇を好む楊升庵が出まして、この碑の奇字を讀む事に苦心し、釋文を作つて流傳するに努めましたと共に、嘉靖年間に、前述岳麓書院石が現はれ、また王陽明と論爭して名高い湛甘泉に紹介せられた衡山石も現はれ、岣嶁碑の流行時代となりました。そこでこの碑の釋文を作つた人も、楊升庵を除き、沈鎰、楊時喬、郎瑛等續々出て參りました。またかく流行するにつれ、拓本によつて摹刻した石も次第に多く殖ゑて來ました。清の雍正、嘉慶の頃に、王述庵が手づから拓本を取つた石は（一）雲南の昆明（二）四川の成都（三）長沙と（四）西安にあるものでありまして（一）（二）は升庵の摹刻に係り（三）は岳麓書院石（四）は毛會建の摹刻であります。なほ諸書に散見する碑石を擧げますと、升庵の拓本によつて摹刻した紹興石、楊時喬が刻した棲霞石、[illegible]が刻した甘泉石、[illegible]が刻した新泉石、[illegible]氏石、汲縣石、李蕃が刻した嵩縣石の外に、濟南の長山縣にも一つあります。しかして多數に上る是等碑石の大小廣狹は、各石[illegible]があるやうですが、字は七十七字とほゞ極つて居ります。その文意は大禹が洪水を治むるに勤勞した事を書いてあるやうで[illegible]と云つて居ります。

要するに岣嶁碑は、古來眞僞の議論紛々たるものでありますが、宋に於ける金石の大家[illegible]の著校碑隨筆に斷然僞物として取扱つて居りますから、當今の學界では、僞物と斷定されて居ると思つて宜しいのであります。



◇歸路　大連　觀田樵村

# 小楠公と獸庵禪師（其二）

話は餘り横道に入り過ぎた其の天龍寺の塔頭の內に寶篋院と云ふがある寶篋院といふは足利義詮の法號で此の寺に葬られて居るので恰度尊氏の菩提所が其の法號に依つて等持院と云ふが如く法號の二字を執つて寶篋院とされて居る其の寶篋院の義詮の墓と並んで小楠公首塚と稱されてゐるものがある是れが即ち本題の小楠公と獸庵禪師との話しの起りである寶篋院には今話した小楠公首塚の外に小楠公の一基の位牌と左の如き古文書がある曰く當院開基獸庵禪師[illegible]行脚の時より楠正行と懇志あり朝臣も亦た禪師に歸依す其後貞和五年南朝の正平三年正月五日河內國に至る時に[illegible]の同國讃良郡[illegible]四條畷に出陣す[illegible]禪師[illegible]……永和三丁巳年四[illegible]と云ふ坊サンの書いたものである是で即ち小楠公と獸庵禪師とが師弟であつた關係の一班が分り其小楠公首塚と義詮の墓と並んで居る縁起とも云ふべき右古文中の左の一節を讀んで見れば分る曰く其後足利二代將軍義詮公亦深く禪師に歸依す將軍一日禪師を召す時に[illegible]楠朝臣首塚云々に至る義詮公愀然容を正して曰く楠家の一族は吾家の怨敵と雖も眞に南朝の忠臣と謂べし吾逝去の後は墓碑を正行の墓側に建つべしと其後貞治六丁未年十二月七日義詮薨ず禪師則ち亦其の遺命の如くすと（一老居士談）

# 誰（112）
布施生譯

賴太郎は咽喉の間に機轉を利かせて顏には皮肉な笑を浮べ乍ら『おや／＼母樣未だ御承知が無いのですか鈴富は僕と腹を合せてるんですよ』『そんな事があるものですか』『だつてそれぢやお母樣[illegible]を知つてる筈がありませんよ。鈴富はお前の[illegible]の男です』『そりやさうですとも、いや正直と云へば僕も正直では彼奴に負けませんよ。しかし母樣今は二人共に全く窮つてるんです』『そんな事が有るものですか』『いゝえ母樣、僕は[illegible]は言ひませんよ、栞ちやんが鈴富に背中を向けたんです、鈴富は其[illegible]を[illegible]らそうと騒ぎました。それには否でも應でも金がいります』眞僞を決しかねた夫人は思はず一寸躊躇した。其隙を外さず賴太郎は手早く夫人を引立てゝ金庫室を[illegible]出てしまつた。『鈴富が盗賊』に[illegible]つた夫人は惡夢に魘はれてゐるやうな感じがして今はもう正體もなかつた。賴太郎は夫人を引擦るやうにして部屋に還り金庫の鍵も自分で[illegible]の處へ復しに往つた。そして今度は有らん限りの智恵を揮つて夫人を慰めやうと懸つた。『母樣／＼、お蔭で私も助かりました、いや私だけぢやあ無い鈴富も實際助かりますよ。母樣もう心配しないで下さいな、もう何もかも大丈夫です、鈴富は事によると目指されて[illegible]目に會ふかも知れませんが、何、彼奴はもう覺悟してるんです、しかし何と言つても[illegible]のない事だから直に放免になりましやう』『賴太郎、お蔭で母樣の壽命が縮まりましたよ』夫人の聲は痛々しかつた、賴太郎はそれを聞くと思はず胸を貫かれるやうな氣持がして後悔の念が堪らぬ程に身を責めた。

それから二十分ばかり後には賴太郎はもう利介の部屋に現はれてゐた。そして內懷から今奪つて來た十萬圓[illegible]かの紙幣束を取出して利介の眼前にどさりと拋出し『おいさあ渡すぜ、之が人間三匹の幸福の面目、いやいやこそ生命と釣換だ』しかし之で前の腑が癒れたらうな』利介は首を縮めてふゝと笑つた。そして机の上に轉がつてゐる其紙幣束を拾上げるとそれを[illegible]賴太郎に突附けて『ふん、之は今夜の骨折賃に取つておけ』賴太郎が思はずあたふたと手を出すのを見た利介は肩を聳かして『からから』と豪傑笑をした。

朝鮮彙報 十一月號
口繪 [illegible]
司法官に對する總督訓示
治道工事の竣工
朝鮮人の死亡率
最近の法律思潮
俚諺と俗諺
販賣店　定價一部金七圓

觀よ當華突然たる本號の偉觀
農業金融改善
新時代の對支政策
朝鮮としての原料國價値
昔本植物花卉 百花園種苗場

朝鮮公論 拾壹月號
强國の要義
物價の一時的騰貴
新局長としての予の信條
朝鮮の産業
北鮮の富源を開發せよ
大ニコニコの兒玉翰長
釜山縱横觀
實業的發展
朝鮮の黃金時代
東朝鮮回遊記
初冬の衛生
鮮滿人士の新使命
財界警戒期に入る
購讀申込所 京城太平通 朝鮮公論社 振替京城一五七七番

太陽 十一月號
聯合國の現狀
米國海運政策
露西亞の政局
各政派の肚の底
船舶管理令
文作家の苦心
日本畫評
暴風雨の夜
東京本町 博文館

周易講義 奎文館

朝鮮醸造品評會に於て
一等賞受領
銘酒 勳賞正宗
仁川松坂町 吉岡酒造場 電話八一二番

於朝鮮釀造品評會 優良賞受領
最上清酢 三矢酢造場 植山仲次郎
京城本町四丁目 電話三〇七五番

カスミ網 京城永樂町二丁目 吉備商會

御問屋 銘茶 菊園 京城永樂町二丁目 長電話一三四二番 井上藤兵衛 振替京城三六六九番

仁川米豆取引所
三日後場 各地電報未着にて[illegible]

## ●露軍形勢益々非

露軍はヘルシングフオース及びウオースツレマを撤退すべく目下準備中なり尙獨軍は露國と瑞典との聯絡を絶つ爲め芬蘭を占領すべく準備しつゝあり（露都電報）

## ●露軍敵の裏を掻く

北部露軍は獨軍陣地を砲撃して敵が此の方面に於ける露軍と親和して交戰せざらんとする計畫を挫折せり（露都電報）

## ●伊宰相軍隊激勵

伊太利新首相オルランド氏は伊軍總司令官ドルナ將軍に激勵の電報を送り國民一般の援助切實なるを力說せり（羅馬電報）

## ●獨新宰相辭退す

新に獨逸宰相に推薦されたるヘルトリング伯は議會に多數を得る見込なく辭退せり（アムステルダム電報）

## ●へ氏尚就任せず

伯林電報ミハエリス氏は宰相を辭職せりバイエルン首相フオン、ヘルトリング氏は宰相就任の交渉を受けたるも氏は尙熟考中なり（アムステルダム電報）

## ●伊軍に大打撃を

倫敦にて傳へらるゝ處に依ればマツケンゼン將軍は露國戰線上の獨軍二十萬人を拔いて伊軍戰線二哩に配置し伊軍に對して大々的打撃を與ふべく準備しつゝあり（桑港電報）

## ●米政府對伊貸付

米國政府は伊太利に對し二億三千萬弗を貸付けたり（桑港電報）

## ●朝鮮事業債發行

### 發行總額四千五百萬圓

朝鮮事業費國庫債券發行規程は二日發表されたり其要領左の如し（東京特電）

▲發行總額　四千五百萬圓

▲債券額面金額　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓の七種

▲發行價額　現金拂込みを爲すもの額面金額百圓に付九十五圓五十錢、國庫債券代用拂込みを爲すもの額面金額百圓に付九十五圓

▲償還期限　大正十一年十二月一日迄

▲利率　一箇年百分の五

▲利子拂期　毎年六月一日、十二月一日

▲應募申込期間　大正六年十一月十二日より同十一月十五日迄

▲取扱銀行は應募者の都合に依り十一月十二日前と雖も應募申込みを受くることを得

▲應募申込保證金　應募額百圓に付五圓但し官廳、公共團體の申込みは保證金を要せず

▲募入決定　應募申込みに對する募入額は十一月十九日迄に決定し應募者に通知す

▲拂込み　十一月十九日、二十九日、十二月四日の三回

△代用拂込み　大正二年發行朝鮮事業費國庫債券は額面金額又は登錄金額百圓に付百二圓五十錢の割合を以て計算し本國庫債券の應募拂込金に代用することを得代用拂込み應募は之を優先に募入す

### ▲當局說明

朝鮮事業公債募集に付大藏省當局の說明に曰く政府の公債政策の要は不動資金を吸收して之を資本化し或は植民地事業費に或は外債償還に或は貿易決濟等の用に充て一面金融の緩慢より生ずる諸弊を防がんとするものにして政府が本年既に募集せしもの他に尙計畫中に屬するものは臨時軍事費豫備公債二千萬圓、外債借換公債三千萬圓、鐵道事業費借入金借換公債二千萬圓、朝鮮事業費國庫債券借換及び同上事業費公債四千五百萬圓、臨時國庫證券五千萬圓等なるが其內臨時軍事費豫備費公債は依然其必要を認めず外債借換、鐵道事業費借入金借換公債は經濟界の狀況に應じ便宜募集することあるべく朝鮮事業費國庫債券の借換は從來市場に在りたる公債を新債券に換ふるのみのものにして何等市場に影響を與ふるものにあらず唯國際市場より吸收するは軍需品決濟對外投資金融を目的とする臨時國庫證券と各種事業公債と合せて七千萬圓に過ぎず右の內政府は本年十二月遞期に入る朝鮮事業國庫債券の借換と其他朝鮮に於ける事業費の支辨に充つるものとを合せ朝鮮事業費國庫債券四千五百萬圓を發行せるものにして特に二十五圓の小額券面を發行し貯蓄奬勵の意を含ましめたり（東京特電）

## ●議員歲費案

帝國政府は今期議會に一般官吏增俸案を提出すると共に議員歲費を三千圓に增額することに決せりと傳へらる（東京電報）

## ●北濱又復動搖

二日の株式市場は又復波瀾を起せり原因は日米協約說の反撥なり（大阪特電）

## ●獻上鷹鷂發送

旅順要港部司令官黑井海軍中將より東宮殿下に獻上すべき滿洲鷹三羽及び多數の鷂は嘉義丸に搭載され同船は一日大連を出帆せり（大連特電）

## ●黑井司令官南行

黑井旅順要港部司令官は海軍演習參加の爲め一日午後六時三十分安東縣通過南行せり（安東縣特電）

## ●安田氏一行著奉

安田善三郎氏一行は一日夜北方より著奉せるが蒙古に向ふ豫定なりと（奉天特電）

## ●山科氏一行通過

東京商業會議所議員視察團山科禮藏氏等一行は二日朝奉天通過長春に向へり（奉天特電）

## ●武藤代議士消息

政友會代議士武藤金吉氏等の一行は一日夜著奉大和ホテルに入れり（奉天特電）

## ●龍居理事東上

吉長借款改定の任に膺りたる龍居滿鐵理事は二日午前十時大連出帆京城經由東上の途に就けり（大連特電）

## ●製糖社長動靜

來奉中の荒井製糖會社長は五日夜迄滯在の上大連に向ふ筈なり（奉天特電）

## ●總督軍旅長軋轢

（黑龍江省城にて）[illegible]

## ●吉林問題下火

[illegible]

## ●物價騰貴と地方經濟狀況（四）

京城商業會議所調査

### △全羅北道（群山地方續き）

▲輸移出商　[illegible]

▲輸移入商況　[illegible]

## ●東拓社員優遇

東洋拓殖會社にては今回其の株式の大部分を引受けしめたる資本金一千萬圓の海外興業會社に對し現社員中より二三の重役を推薦する事に決定不日發表の筈なるが更に今後も事業金融の活動に伴ひ滿鮮兩地方並に南洋南米方面に於ける姉妹會社並に姉妹會社の成立を促す事も決して二三に留まらざるべく大拓等の關係諸會社には事情の許す限り東拓社員中より重役の一名若くば數名を推薦する方針の如くこれ偏に東拓高級社員優遇の途として[illegible]は其の光明を與へし譯にて同社員の前途に拓かれし多大の新設會社重役に社員を推薦する場合にも東拓社員たる身分は確く之を保留し置くものゝ如し

## ●東拓債券交附

東拓第三回債券一千萬圓の拂込みは二十五日各地共終了京城本店の如きは全部の拂込濟を見たるが拂込と同時に交附の豫定なりし債券は其到著一日方遷延せしため昨今も尙應募者に對し交付をなしつゝあり

## ●電信收入好調

朝鮮財界の好況に伴ひ遞信局の電信收入は頗る好況を示しつゝあるが九月中の現計は八萬一千六百餘圓を示し之れを前年に比すれば四割增となり又通數に於て五十五萬四千通にして前年より三割二分七厘の增となり居れり

## ●專用輕便許可

鎭南浦株式會社より出願中なりし平安南道江西郡東津面甫串里より江口に至る運炭專用輕便鐵道敷設の件は十月二十七日附總督府より許可されたり

## ●露貨換算率

滿鐵にては鮮滿聯絡旅客運賃の換算率は十一月中露貨一留に付日貨十八錢五十二厘と決せりと

## ●乘車券の著色

滿鐵にては十一月一日より乘車券の著色を左の如く改むべし

| 等級 | 著色 | 等級 | 著色 |
|---|---|---|---|
| 一等（急行） | 白 | 一等 | 黃 |
| 二等（急行） | 青 | 二等 | 綠 |
| 三等 | 赤 | | |

## ●電氣協會總會

全鮮電氣業者に依り組織せられたる朝鮮電氣協會にては今回[illegible]

## □經濟縱談

### 日支博覽會開催に就て　今村繁三氏談

過日釜山を通過し支那觀察に赴きたる東京商業會議所議員一行に加はるべく今村銀行頭取今村繁三氏は去月三十一日釜山に上陸し直ちに北行列車にて一行を追ひ北行せり記者は同氏を停車場に訪ふ

內地一般の經濟界は不自然の膨脹を來し殊に株式界の如きは最も甚だしく一時は何處まで奔騰すべきやは當業者と雖も殆んど豫測し能はざりし程なりしが近來は其の反動を生じ▲稍や混沌の狀態にあるものゝ如し併せば戰爭開始と共に漸次暴騰せし船株の如き一時は四百五六十圓に昇りし假然百五十圓に低落し續々寶物類は株式市場の動搖を來したることもありしも經濟界の危態を導くものとなり兎も角斯かる狀態にあるを以て何時何れの方面よりか爆發するやも知れず賣買を中止し幸ひに事なきを得たることと爲しとも斯し難し本月の受渡は幸ひに圓滿に終りたれども銀行業者は勿論一般財界に於ては寸時も油斷を許さゞるべしと說き更に話を次いで當今▲支那方面に政界の名士事業家が續々渡支せるは日支親善の爲め喜ぶべき事なれども要するに彼我を利し堅實の策を施すにあらざれば折角の視察も遂には得る處なくして反つて怨を後日に貽すの虞なしとせず元々慎重の態度を採られんことを望む予は何等の關係を有せざれども這般東京商業會議所の企圖せし日支博覽會の如きは東京に於て催せんとするは根本の目的に於て誤りなきにや需要地は支那に在り彼の國人に於て其販路を求めざる可からず且つ又需要地に於て我商品の適不適を善く問ふの要あり加之出品者は親しく彼地に於て其取引先を選擇するは最も緊要の事ならざるべからず然るに▲之れを示し之れを東京其他內地の都市に於て開催し一部の支那人を誘致して都市の繁榮を誇らんとするが如きは博覽會開催の意義を爲さざるものと思惟さる（釜山）

## ●奉天市街派出所

奉天朝鮮銀行支店にては這回業務の進展に伴ひ新市街派出所を增設し十一月一日より新築の店にて營業を開始せり因に派出所主任としては奉天支店勤務法學士林德一氏任命され林氏の後任としては京城本店勤務小副川鹿太郎氏來任せり猶任派出所事務員としては京城本店より數名の行員著任せり

## ▲娼妓者懇親會

電氣協會[illegible]

## ●秋山大將へ記念品

[illegible]

## ▲總參謀本部

近隣國から訪つた人の話に▲總參謀本部に政治局なる一局を新設して作戰はソツチ退けにして居る▲首腦部が既に之れだから堪らぬ師團長に至つては用兵を心得て居る者がなく▲兵士が鐵砲の射ちやうも知られ者が許りでなく一般の狀態が又頗る亂雜を極めたもので▲先月四日哈爾濱のキシネフと云ふ料理店で男給仕の一群が主人に迫り女給士の全廢を主張した▲主人は女給士の後援で以て男給仕連の申出を拒絕すると男給仕共は決して無言て居らず▲忽ち革命を叫びつゝ一場の葛藤を始め男給仕共は直に食堂を占領して仕事を拂ひ大に軍容を張つた▲警官も來たが手の付け樣もなくやつと守備軍の乘馬隊で一時鎭靜に歸した▲處が兵隊が居なくなると又始める翌日も其の翌日も同じ騷ぎを繰り返して居たと▲紊亂の狀態が如しだが一體何時迄此の樣な有樣だろう▲元來でさへ炭坑熱の高い福岡地方は此頃の炭價騰貴で礦山熱の熾な事は實に甚しく▲猫も杓子も鑛區出願で鑛務署は勿論代書屋共も目の廻る樣な忙しさだと▲熊々知人から云つて來たが何處も鑛山には…。

## ●金久保少將內地行

大邱步兵第四十旅團長金久保萬吉少將は滋賀縣下に於ける陸軍特別大演習陪觀の爲め近々出發內地に向ふべし

## ●岡軍參謀出張

軍司令部參謀步兵少佐千賀松氏は鴨綠江沿岸守備隊視察の爲め二日朝龍山驛出發安州に向ひたるが同地視察の上更に中江鎭楚山義州等の視察を遂ぐる豫定なりと

## ●圖書寄贈

前總督府局長新垣莊氏は今回總督府圖書館に本月二十八日夜歸龍の豫定なり參考用として目錄を添へ有益なる書籍十數冊を寄贈したり

## ●京畿桑苗配付

京畿道にては明年度桑苗接木苗二百七十二萬五千本內百九十本を配付する事に決定し目下調査中なり

## ●重要電報は

重要電報は儉約に[illegible]

## ●人事

▲[illegible]

## 一百閻百種

[illegible]


**女中入用** 三十歲以上四十歲迄の者希望者は南大門通二大阪朝日新聞京城支部へ來談あれ 781

**支局長募集** 各地府郡に月收約五十圓希望者は履歷書及郵券封送れ 東京麴町區富士見町 兒童新聞社 778

**鑛物定量分析** 明治町二丁目（電話二七七一番）支那領事館前通り 田部分析所 768

**銃砲火藥** 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 764

**女子募集** 尋常小學校卒業程度の者十四歲より廿五六歲迄 龍山總督府印刷所 771

番外

貸家又は貸間 質家下宿屋向間數十有離家十疊付 金町三丁目二四一 古賀造

中古撒鈑 一京城新橋 八番二連十二番自働五 宇城方 780

貸家 日本建二階家閑靜にて官吏向 附家賃拾四圓 電話九八九

讓株 華商曹洞宗別院內 全廿五株 五十五圓 金百株譲 姓名在社

店員入用 十六歲より廿歲位の身健全なる人要保證人本人來談 京城本町二丁目 九一雜貨部

電話開通（三千百五番）大和町一丁目四一 杉野樂器店 755

貸家 建二階家 間數五 湯殿水道電燈付 黃金町三丁目 蓬萊町四丁目中村 電一九七七

讓龍山電話番號（四五五） 御入用の方は京城府西四軒町七丁目 御照會被下度

京日案內 普通

責任保證 純金指環 一圓四十錢 京城南大門通一丁目 電話一九七七 友助堂時計舖

純金指環御安致升 京城本町 ちゝぶや

店員入用 三十歲迄甲種商業學校卒業又はこれに準ずる者二名十五六歲迄の小學校卒業生若干名 京城本町 [illegible]

英獨佛夜學開始 本月十五日より 講師 法學士 工學士 京城太平通二丁目七十三番地 京城外國語夜學會

日本種牛一頭 右賣却す希望の方は左記の所に御來談下され度候 平壤府昌里二番地

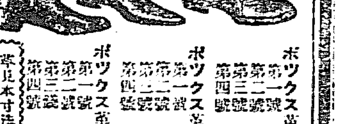


**朝鮮及滿洲** 十一月號出（毎月一回一日發行）一部卅錢 京城 朝鮮雜誌社

▲寺內伯の人格とその政治 ▲對支問題と對米問題 ▲大戰終局と帝國財政 ▲現內閣對支政策を評す ▲支那統一と協調政策 ▲外交記者の眼に映じたる朝鮮の人物 ▲社會主義と法律思想 ▲可恐肺病の結核の話 ▲支那の旅より ▲三陽燒と其年代 ▲內鮮人通婚狀態 ▲內鮮結婚者と其の家庭 ▲誰れも出來る舊鬪的小商賣 ▲破れたる女 ▲蒙古探檢記 ▲時事日誌 ▲人事と會合 ▲短歌 ▲和歌 ▲俳句 ▲漢詩



信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢

ボックス革製變化靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢

ボックス革製深ゴム靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金六圓五十錢 第三號 金七圓五十錢 第四號 金八圓五十錢

見本寸法用紙付目錄送呈

以上の靴は一般の用靴中最上の熟練工人の精製したる品な以て最良に選精したる材料を用ゐ好適な品なり 御注文は價代金引換小包にて御送付申上候

東京市芝區宇田川町 三金高等靴店 電話芝九六〇・振替東京七三番



愈々鋤燒の期節となりました!!

今回私方にては山の珍味―海の珍味の外に金鍋新調の上鋤燒開始致候間御散策旁々是非御立寄御試食被下度願上候

御料理 玉水 京城旭町一丁目 電話二四五一番



最上醬油 鶴 品質佳良 風味本位

京城府元町二丁目 關西醬油釀造所 電話三九番 振替京城七三九番

[illegible]んことを希望せるも鮑督軍之れに反對せるに由る　鮑督軍は張奉天督軍と[illegible]の關係あれば省城の警備は奉天より派遣されたる張鳴九氏の兵之に當り今や兩軍對峙しつゝあり（奉天特電）

師長吳俊陞氏を政府に推薦せしやの報あれど王士珍氏等有力な後援あり政府も容易に孟氏を動かし難かるべく之れにて吉林問題も一時小康を保つべく觀測さる（奉天特電）

**東京公債特電**

先限寄付　二十三圓五十六錢　[illegible]節七十錢四節七十錢[illegible]四錢三錢四錢三節三十三錢四錢三錢四錢三錢四節三十四錢三錢四錢[illegible]

[illegible]術の輸出を禁止したり（[illegible]特電）

[illegible]月一日より十三日迄に[illegible]各郡共之れが穴掘調査補付に關する打合會を開き十一月十五日よ[illegible]石、唐箕五十組を高陽郡外十三郡に配付せりと

**鎮南浦**　◎發動船進水式

[illegible]於て進水式[illegible]長より同船の十年[illegible]本日進水に至る迄の經過報告及び式辭あり次に來賓祝辭[illegible]

◇驕奢荒淫の成金輩を尻目に

# 山本氏の朝鮮虎狩（二）

◇來る六日より序幕開かる！

## 征虎軍作戰

近來の快擧朝鮮征虎軍の編制及び作戰計畫一班は、朝鮮銃獵界の橫綱、天才の名砲手仁川居住の姜龍根立會にて、五六關係幹部員の間に協定せられ、爾來今日に至る迄其計畫に則り、諸般の準備行爲は進捗せられたもので。先づ其

**戰鬪開始期を麓の雨も**
**山は雪なる十一月上旬**

殊に咸鏡南北の奧地に入れば積雪幾寸、虎豹の足跡を踏査するに最も好適な、所謂虎狩季節を十分に利用する事とし、五隊に分派せらる、各隊は、雪深かく氷堅

**き咸鏡の深山幽谷に猛**
**虎を對手の惡戰奮鬪**

約三旬にして十二月上旬には早くも終幕を告げ、征虎軍の全員は凱歌を奏し堂々京城に凱旋する豫定となつて居る。

## 北鮮の配兵

征虎軍主力の集中進擊地は咸鏡南道である、而かして軍の配置は虎豹專門の獵隊仁川組二、元山組二以上四組の襲擊す可き地域は左記の四區と豫定されて居る。

◇永興　◇咸興
◇北青　◇端川

扨て一箇獵隊の編成員數は砲手一名助砲手二名と及び之等砲手の爲には恰も各種銃獵に使用せらるゝ獵犬同然の任務ある**虎狩專門の勢子三名が**添屬せらるゝ、單に勢子とは何れも砲手同樣、少壯時代から虎狩に隨從して鍛錬し來りたる多年の經驗に依り、一たび深山の人となれば目、鼻、耳の神經を一時に働かして、猛虎の搜索、發見に努め**其結果は實に嚢中の物を探るが如く巧妙**なるものがある。山本征虎軍南北七組の各部隊は、何れも斯の如き名砲手三、名勢子三部合六人一隊の編制となつて居る。

## 四隊の襲擊

一粒選りの砲手、勢子を以て編成せられたる北鮮本隊四部隊、配置の人員及び攻擊地點を列擧すると

◇第一班　北青
姜龍根、崔順元、金鉉植（京城勢子三名＝仁川組）

◇第二班　永興
李允會、崔在順、盧敬五（京城勢子三名＝仁川組）

◇第三班　咸興
白雲鶴、忱汝根、洪永美（京城勢子三名＝元山組）

◇第四班　端川
林鳳華、本田某、朴大玄（京城勢子三名＝元山組）

如くて前記列擧の十二砲手は總軍主將姜龍根副將李允會を始め元山組の白雲鶴、林鳳華の如き、其他の何れも過去數十年、深山の風雪と强敵猛虎を對手に鍛ひ上げたる銃砲團選り拔きの猛者揃ひ、勇しき其奮鬪振りは、必ずや近かく旬日後より北鮮の山野に一大活劇の幕を開くであらう（米元）

姜、李二名の砲手が今春獲たる大猛虎。

## ◉一家族悉く殺人犯

咸北茂山郡魚下面廬彦洞居住農金了浩（四〇）は昨年長男金凡吉（二〇）の妻として隣村より黃弄邦（一八）を嫁りしが結婚後家內兎角不和なりし結果黃弄邦は精神に異狀を來し時々山中にて縊死を企てしとあり常に一家の者に嫌はれゐたりしが本年陰曆八月廿一日金了浩同妻韓氏本夫金凡吉は共謀して黃弄邦を毒殺し病死なりと偽り埋葬せしを黃弄邦の親戚が探知して同地憲兵分遣所に告訴せしより連累者一同檢擧取調を受けたる後殺人犯として三日前清津支廳に送られたり

## ◉大猪元山市街に現はる

一日午後三時人家稠密の元山鮮人街に身長六尺、四十貫目の大猪現はれ李某の居宅に侵入せんとするを認め附近の者集まりて追廻はし遂に鎗を以て撲殺せり（元山特電）

## ◉妻の劇藥自殺

全南務安郡朴谷面所川里居住鐵道工夫小牧常造の內緣の妻森きよの（三七）は二十八日午前十時頃夫の不在中石炭酸を仰ぎて自殺を企て苦悶中を發見されて應急手當を加へしも同日午後一時頃遂に絶命せり原因は家庭の不和よりヒステリーに罹りゐたるものゝ如し

## ◉神戸の防疫騷ぎ

ペスト菌發見の爲め神戸市に於ては有菌鼠續々發見され當局者はペスト菌撲滅に忙殺されつゝあり（大阪特電）

## ◉吳海軍工廠　購買係檢擧

吳海軍工廠會計部購買係向坂榮太郎は此程突然檢擧されたり事件の眞相は未だ判明せず（廣島電報）

## ◉狂水病

大阪府北河內郡寢屋川村竹中源太郎は狂水病に罹れり（大阪特電）

## ◆退廳の歸途には

### 必らず倶樂部へ立寄つたもの

◆◆人の茶碗を間違へて茶を飲むほど
◆◆今日決せられる大正倶樂部の運命
◆◆二十年近く勤續したボーイのこと

三十六年の春頃、東京倶樂部の櫛山愛輔、川村鐵太郎伯などといよ〳〵プールにかけては確かな腕を持つた人たちがやつて來て日本人倶樂部に加はつたので更に

◆◆活氣を　呈したが、その後倶樂部一切を京城ホテルの中原臣氏に貸すことになり相變らず當時の官民有力者が娛樂場として盛りを極めて居る內に三十九年の擲水の火事で倶樂部も烏有に歸するに至つた、この時四ツ玉の臺は入口に近い所にあつたため附近の伊藤組の挽子などによつて

◆◆幸ひに　運び出されたが、佛國から取寄せた倶樂部自慢のプールの臺は奧の方に置いてあつたので燒けて終つた、今大正倶樂部にある四ツ玉の臺はその時燒け殘つたのを修繕したものださうだ、これで赤倶樂部は暫らく中絶の態となつたが、何しろ徹夜で球を撞く程どの熱心家揃ひの事だから一日でもキューを離すのは苦痛である、それから間もなく

◆◆今度は　山口太兵衛、三浦彌五郎氏等の盡力で再び京城ホテルの構內に建てられたが、これが今の京城ホテルの食堂になつてる建物であるさうだ。四十年今の赤十字社の朝鮮本部になつてる所へ移轉して明治倶樂部と稱し會長に石塚英藏氏を戴くことになつた、茲に於て一時烏渡寂れた倶樂部は復活して統監府の連中が殆んど入會して盛んに賑はつたものださうだ、その頃の

◆◆撞手に　は石塚氏をはじめ鍋島桂次郎、鍋島直映、頭本元貞、澤田牛麿、市原盛宏、荻田悅造、俵孫一、本多駒次郎、小松綠、長崎武英などいふ人々が中心となつて役所の歸りには必らず倶樂部へ立寄り夕食は倶樂部で濟まして突いたさうだが、熱して來ると自分の丼と他人の丼と間違へて喫ふたり、人のお茶を知らずに飲んでしまつてあとで氣がついて

◆◆大笑ひ　をしたなどは終始であつたとはその當時の倶樂部だつた人の話しである、今大正倶樂部の幹事としてその牛耳を執つてる深澤新一郎氏などはその當時中澁勇輔氏の紹介で司法部の連中と共に入會したものださうだが今では百五十點の實力を有してゐる、明治倶樂部は改元と同時に大正倶樂部となり今日に及んだもので此比較的長い歷史を有するけれど

◆◆三日の　午後一時から貴族會館に開かれる臨時總會によつてその存廢の運命が決せられる筈である、それから此の稿を終るに方つて特筆しておきたいのは此處のボーイの善吉といふ者の事である、これは今相雲と言つて朝鮮人だが日本倶樂部時代から今日まで二十年近くボーイを勤續してゐる、撞球は上手ではないが正直なので皆から愛されてゐる、昨年頃京城に來て撞球店を開いてゐた百點利撞いた今井と言ふ男は此の善吉の弟で、善吉の名は林公使が命けて戴いたものですと本人は言つてゐる。（をはり）

## ◉過つて劇藥を飲む

京城大和町飲食店李聖吉（三七）は二日午前六時頃醉醒めの水を呑まんと勝手元にありたるサバリに水の入れあるを見て其儘飲用したるに右は水にあらず妻崔姓女が洗濯の爲めと前日溶解したる苛性曹達の溶水なりしこと判明し大に驚きて應急手當を加へしかば生命には更に異狀なしと

## ◉煙草業者に注意

煙草を販賣するものは煙草稅令に基き店頭には必ず一定の標札を掲げ帳簿を設備して煙草の買入賣渡を記載し（小賣業者は賣渡の記帳を省略することを得）店舗を移轉したる時又は小賣の種別の變更を要する時は其都度所轄府郡に申告を要する然るに煙草製造者又は煙草販賣者に非ざる者より製造煙草を買受け又は讓受くるを得ざる等諸種の義務を負へるに拘はらず往々之に違反する向あり京城府に於ては注意書を交付し又時々當該官吏を派して之が根絶を期しつゝあるも猶容易に其跡を絶たざる趣にて同府は近く府內全般に亘り之が檢査を施行し嚴に之が斷行を期する方針なりと當局者は語れり。

## ◉縊死者の身元判明

釜山龍頭山共同便所內に二十七日夜縊死を遂げたる內地人青年は其の後取調べの結果愛知縣愛知郡荒子村生れの中西健二と判明し同人は以前慶北金泉本町雜貨店小塚方に雇はれ中主家の金を幾分消費せしことあり這回は徵兵の爲め歸鄉の途中なりし由にて實父德次郎が渡鮮し來り屍體を引取りたりと

## ◉値段は昨年と大差が無い

### 呉服物の相場

十三圓臺に上つた銘仙がお今では八圓から十圓

滔々として底止するところを知らない物價騰貴の聲は中產階級以下の者に對して尠なからぬ威嚇を與へたが、殊に一時七八月にかけて

□天井知らず　にグイグイと上つて行つた呉服太物の暴騰にはあらゆる階級を通じて恐慌の眼を瞠ると共に季節代りを控へてボツ〳〵と萌しかけた一般の購買慾もこれがために木ッ葉微塵と粉碎されたのであつた、その打擊が餘りに大きかつたために、それからのち颶風のやうな

□熱狂相場が　過ぎ去つて漸く低落の傾向を示しつゝある今日でも依然として景氣が引立たず、尚ほ値のものと信じきつて刻々と押寄せてくる寒氣を前にしながら手控へてゐるやうな模樣である、これには京城の呉服商も弱りぬいてゐる

□三越呉服店　京城出張所長川中文藏氏は曰く『一般には未だに呉服類が高いやうに思はれてゐるが事實は反對です、唯その店によつて仕入値段の强弱の結果、それが今日の低落に際し直ちに小賣値段を時價に引下げる事が出來ず、同じ品物でありながら

□仕入れ値の　相違から二三割も違ふ値で賣出してゐる店もあつて此のために一部の人は高値を信じてゐるやうですが、これは全く例外で一體に廉くなつてゐます、先づ鳥渡した統計を見ましても七八月の熱狂相場當時と今日と比較して千七百五十圓まで上つた生絲が千三百圓となり

□四百七十圓　の綿絲が二百三四十圓ヤール一圓十五錢したモスリンが五十五六錢になつてゐるやうな譯、銘仙なども十二三圓以下では上等物は無かつたのが今では八圓から十圓も出せば可なり良い品があり、紡績絣の如きも六七圓だつたのが三四圓となり、モスリンは一尺三十錢から三十二三錢になつてゐます

□低落の割合　を見ると縮緬、羽二重類が三割、モスリンが八割乃至十割、生絲が三割五分絹絲が八割から十割位で御召の上物になると昨年と大差はなく、その他の物は昨年の今頃に比べて價格の相違は一割乃至二割位より騰貴してゐないわけです』云々と、これによつてみると

□世間が恐怖　してゐる程織物類の騰貴は甚だしくないわけである、と言てもこれより値下落する見込もないやうだが、呉服業者としては店の事情の許すかぎり仕入價格の如何に拘らず時々相場に伴れて小賣値段を改めることにして貰ひたいとは需要者一般の叫びであらう

## ◉又復仲買の破綻

大阪株式取引所仲買人山田商店破綻を生じ整理に着手したり（大阪特電）

## ◉本町の小火

二日午後二時半京城本町四丁目森熊一方より發火したるも壁及び天井等少許を燒きたるのみにて常備消防出動即時消止めたり

## ◉職工五名火傷

鎮南浦久原精煉所にて二十九日午前九時就業中の職工大西久助外四名は誤つて火傷し何れも府立病院に入院加療中なるが輕傷なれば間もなく快癒すべしと

## ◉船中で卒倒

佐賀縣杵島郡福治村米穀商光吉多一（五六）は京城の知人を訪ひて三十日夜國へ歸らむと關釜連絡船高麗丸に乘船せんとして船橋に差掛りしに突然腦溢血を起し打倒れ言語を發し得ざるより取敢へず驛前ヽ本旅館にて療養中なるが中風症の如きも意識は明瞭なりと（釜山）

## ◉梅の家の移轉

從來大和町に營業しつゝありし會席料理梅の家は今回本町二丁目千代本跡に移轉し建物にも大改良を加ふると同時に熟練せる料理人を東京より招きて勝種の料理に勵精する由


最新刊　歷史的記念品

# 朝鮮之古錢

常平庵主人著

▼本書は朝鮮の古錢に關する唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
▼好古家諸氏に便する爲特に各頁に朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に記す
▼歷史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絶好記念品なり

實物古錢添付
廿二個付　金一圓廿錢　送四錢
五十個付　金四圓　送入費
六十個付　金五圓　送入費

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
發行所　京城　ウツボヤ書籍店　發兌



菱　印

三等品　舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ此品ニ限リマス
四等品　通常舶來ト稱ヘ普通ノ用途ニハ至極適當ノ品デアリマス

# 窓硝子

本社　旭硝子株式會社

工場　第一工場 尼崎　第二工場 戸畑　第三工場 鶴見　第四工場 枝光　煉瓦工場 尼崎　曹達工場 戸畑



圖新春用　の御紋付類はお早く御注文願上度候目下染物の好時季に有之且つ呉服類も著敷下落致居候に付多少に不拘御用命奉願候

十一月五日より

懸賞募集　裾模樣圖案陳列

圖東京本店　に於て募集したる圖案の內優秀なるもの取揃へ御覽に供し候是れ今秋より明年に懸けての流行魁にて御座候

京城　三越呉服店

# 櫻御殿

第五十五回　大阪　霞の家主人

## 三左衛門の血（十二）

正則は直政の入來を聞いてすぐ對面する、六疊の燭臺がずらりと並んだ十二疊敷の一間に、直政は首箱を置いて坐る、一應の挨拶終つて

『御所望の首級を持參致した、改めて受け取召され』と厳かに云ふ

口にこそ出さね、我威を恣にして、圖書に腹切らせた我儘な振舞を憎む心が、一寸云ふ詞の端にも出る

『さらば圖書の……』

正則は、己の言分の通つたのを歎んで、一尺ほども進み出た、正則は三左衛門の爲めに仇を倒したのを歎ぶよりも、家康が己の勢力に抑へられて、最愛の家來に腹切らせたを誇り思ふ樣が見れた

『まづ實檢召されへ』

直政は首箱を前へ出した、正則は受け取つて、無造作に實檢を終つて後

『斯樣にござつてこそ過分には存じ申す、一命のあらん限り、内府公へ忠勤を盡す心も出で申す』と云つた

直政は、その顔へ唾でも吐きかけたさうに見て

『さらばでござる』

『まづ緩々と……一獻參らす』

『いや、急ぐ、馳走は追て受け申す』

直政は直に立つ、正則は次の間まで見送つて、元の間へ歸つて來て

『御本意をお遂げなされ、何よりも祝着に心得ます』

第一に歎びを述べに來たは刀屋善三郎といふ近習であつた、正則は箱の上に載せた圖書の首級を指さして

『これを見い、三左衛門の相手の首を見い』と小供のやうに云つた

本陣に居合せた家來が、次々に悲悦を述べに來る

『これで、三左衛門も浮ばれるであらうの』

『[illegible]の臨から、君の御威勢のお強く居らせられるを歎んで居りませう』

善三郎は正則の心を迎へるやうに云つた

『この首級を、三左衛門の位牌へ供へて遣れ、早く〳〵』

善三郎は心得て、圖書の首を持佛の前へ持つて行つた、彦丸の任務として、陣中に討死した家來の靈を祀つて居る、三左衛門の位牌も新らしくそこに置かれた

『三左、惡あらば殿の御威勢を見よ、これはお主の相手の首ぢや、二百石取の小身が、一萬五千石の大身を相手にして相討となるは稀れぢや、これも皆な殿の御厚恩ぢや、歎んで享けよ』

三左衛門に親しかつた者は、悉く集つて燒香した

『侍從樣の御威勢には、いかな内府公も恐れたまふぞ、それで無くて、三百人の命にも替へ難く思召した御寵愛の大名の首をお渡しにならうか、侍從樣おはしまさずば、今度の合戰何うなつて居たかも知れぬわ』と家中の面々口々に評し合ふ

それを聞いて苦笑ひしたは、正則の部將で第一に指を折られる福島丹波（俗に鬼丹波といふ）つゞいて尾關石見、つゞいて長尾隼人の三人であつた

『殿にあの御氣象が無いとのう』

丹波、忌々しさうに云つた

『いつもの短慮が、勳功の半分を帳消にして了ふ、御自身では威勢の強いのを御自慢でござらうが、内府公は嬉しくも思召すまい、後が恐いぞ』

石見は心配らしく云つた

『然し、人の意見を用ひたまふ方でない、善惡とも同じ道ぢや』

隼人は觀念の目を閉ぢて云つた

三左衛門の血の一滴は、家康と正則との間に作られた深い溝渠の淵と化つた

銃　仕様は多年の經驗と完全なる設備と獨特の技巧とを有する[illegible]　玉井銃砲店　電話五三八


## 京日報俳壇

雁　山梨坊

船の腹を燒く洲の臘雁渡る　同

懷しむ旅窓の月や雁渡る　同

雁過ぎ推敲の我に迫む四壁　同

江に影を落して雁の渡る哉　井蛙

月に黒き城の甍や雁渡る　愛扇

田の中に湧く裸温泉や雁渡る　保道

暮れて聞く門田の曙や雁渡る　蘇風

湖沿ひの驛灯しぬ雁夕べ　忍堂

よく釣れし聲の流れや雁渡る　可笑

月に低う雁の影過ぐ障子哉　北豊

一人ぼつちの旅愁人や雁夕べ　伯牛

双兒島の祭晴れけり雁の棹　梅石

雁の列夕燒け空に散りに見ゆ　飛泉

筆餞す文字乏しさを渡る雁　馬岳

[illegible]の中に騎馬鳴く里や雁登　同

雁鳴くや馬夫を怒罵する荷宰領　同

### ▲選後に

一、句は自然の詠嘆又は描寫も宜いが、願らくは眞摯なる感激から生れたものであつて欲しい。

二、句は自然の力を生活に光被させたもの即ち實生活に觸れたものであつて欲しい。其れには努力も要し又句作に上達するさいよとも必要だが要は句作に眞剣であつて欲しいことです。俳句は我々に取つては生活の糧であるからです。（芳由）


花柳病　皮膚病　京城明治町二ノ三二（元黃金町診療所）　須古醫院　電話二〇二番


### 風骨庵例會

課題　冬隣、開引菜、刈田（大田・六十二七）

[illegible]

## 讀者の領分

▲天長節の奉祝提灯行列は實に盛だつた、が最う一度今度の新嘗祭の日市民大運動會でもやつては何うです（町總代）▲京城近郊の紅葉の名所をお知らせ下さい何なら貴社で採紅會を催しては下さりませぬか（十人園[illegible]の總代）▲昨年か本年の春頃にはヤレ防寒だソレ建築だと大分防寒論が盛であつたが激烈であつた時にはヤレ防寒だソレ建築だと大分防寒論が盛であつたが温になると其れッ切りになつて居る今年も寒いに相違ない防寒論をやるなら實際的に今の内から研究をやるがよい（理學士）▲當府下に於る書畫骨董取扱者中に不都合を働く者多く爲めに損害迷惑を蒙るもの不少、是等は無鑑札無屆の徒輩に多し何とか制裁を加へ惡徒を驅り一般に正實の取引を希望す（愛古生）▲おいきよ其後話を聞いてお前の考はよく分つた昨日迄は策を設けて改心させ引取つて國に歸さうかと思うて居たが其も最早だめだ、すつかりあきらめて今更何の未練もない、おれも男だもう何も言はぬ、只今後のお前の健康と幸福とを祈る許だ、著物も夜分使をやれば渡す、又貯金もあの儘ではどれぬから當方へ來れば手續をしてやる今後我輩の言うた事が分る時があつたら我輩を訪ねて來い出來る丈の事はする隨分身の上に氣を付けよ、左樣なら（無名氏）

## 新刊紹介

▲婦人畫報（一〇〇）美しい寫眞畫報として有益な趣味ある讀物として全國の婦人界に評判高し（三十錢東京）

▲娛樂世界（一一）講談の雜誌中品好く家庭の娛樂用として歡迎せられつゝあり殊に紙價暴騰の際此の雜誌丈けは値上せず（廿五錢東京日本橋[illegible]）

▲婦女界（一一）家政經濟に關する主婦必讀の好文字を滿載せり（十七錢東京牛込加賀町社）

▲市町村雜誌（二八七）十三錢、東京芝田本町六社

▲極東時報（四〇）十八錢、東京々橋築地明石町三二社

▲フースヒー（四五）五錢、東京淀橋谷町フースヒー社

▲考へ方（一一）數學其他考へ方の根本を及び信古等を研究し上る記事を滿載す（十七錢）東京神田北神保町考へ方研究社

▲警察新聞（四一九）五錢、東京芝愛宕町日本警察新聞社

▲月報（一二六）名古屋西區伊倉町名古屋商業會議所

▲主婦の友（一一）家庭に必要な米の知識、神戸市の五大難決法、女子の出來る家計法其他家庭の重要なる記事、東京神田駿河台東京家政研究會）

▲園藝報告（一〇）非賣品、新舊總特館

▲新少女（諸子寶寶石號）美人要、婦人座俗、投書家諸君の投稿を愉快なものとして提供（十三錢、東京神田[illegible]）

▲平民（七七）一錢、東京京橋木挽町平民社

▲婦人週報（四一）四錢、東京小石川谷田町婦人週報社

▲大正實業新報（創刊）一部十二錢、京城本町通谷社


京染　京都　たまや出張店　電話一一九六　呉服

りん病ばい毒　患者諸君　マにせドラッグあり御注意　近來東京其他各地にドラッグあり名ありとも[illegible]　詐欺漢なり　[illegible]　京城南大門外　花柳病　專門藥房　ドラッグ商會　永寄　清鮮

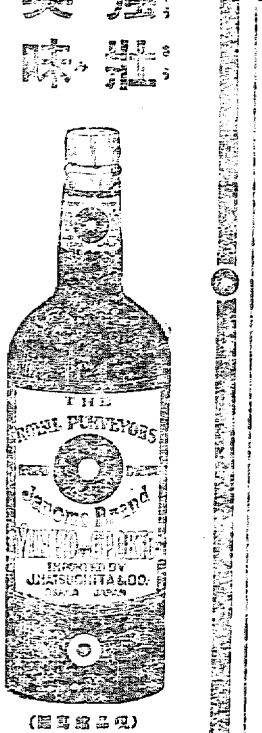
最新刊　[illegible]
日本商法　[illegible]
宗教と民主思想　[illegible]
眞に生きるには　[illegible]
カアラ論文選　[illegible]
中學作文講話　[illegible]
朝鮮の冬と防寒法　[illegible]
露西亞に遊びて　[illegible]
少年若冷戰錄　[illegible]
隣むの記　[illegible]
榛名の梅ヶ香　[illegible]
代數學　[illegible]
鋳文物　[illegible]
博文館其他諸店　[illegible]
大阪屋號書店

東京講談二名人來演
邑井貞吉
大島伯鶴
◎又と得難き兩師の來演をお聽落しなく御來館偏に希望仕候
毎夜六時卅分開演
明治町　浪花館

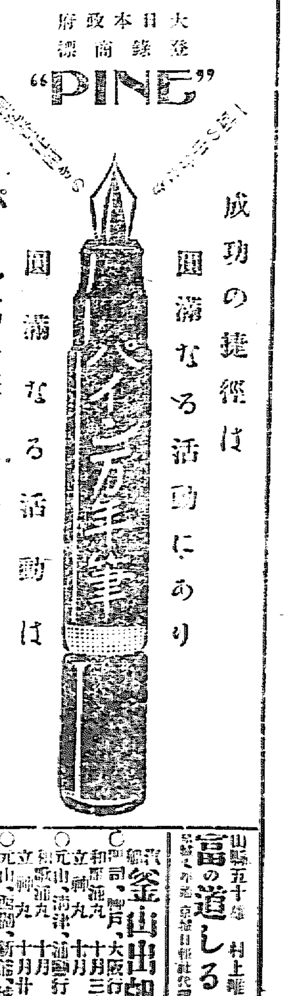
質　京城本町一丁目　電話三五〇番　森久本店
大平町　電話一九一六番　田村質店

マッチ（燐寸）ハネシカ
B.TAKIKAWA. HIOGO JAPAN.
ねの安い品質保證の……最經濟的の「マッチ」は……ハネシカに限る

大日本政府登録商標
"PINE"
成功の捷徑は圓滿なる活動にあり
圓滿なる活動はパイン萬年筆の金ペンより迸る
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇番　京城日報社代理部
取次所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店


登録商標
滋養强壯　芳香美味
◎蛇の目印ポートワイン
本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を増し肉を肥し殊に精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり
賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、罐詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり
【類似品あり登録商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】
發賣元　洋酒　食料品　罐詰　煉乳　家庭藥　雜貨　直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目　松下善四郎
電話本局一八五　一八六　長八二〇　電信略號マツセ　振替口座大阪一六


消化と毒けし
三輪井上兩博士御方劑
仁丹
本舖　森下博藥房
仁丹のむ人胃腸强健
金言　瞬間も業務なき時はなし（シセロ）

大阪株式特電　[illegible]

大阪期米　二日前場　[illegible]

地金十九圓七十錢中五十錢先三十錢平均値段四十四錢四節四十四錢八錢に寄付しも二錢押し二節[illegible]五錢四錢五錢六錢七錢平均値段四十三錢より三錢先三十三四錢十五錢大阪五十一錢の入電なりしも賀[illegible]先限一節十九圓三十八錢七錢[illegible]

二日の十二月限　寄付　十九圓三十八錢　前場　十九圓三十四錢　[illegible]

北滿材輸出　三十日入港の[illegible]丸は今回[illegible]を積載し[illegible]


釜山出帆廣告　[illegible]
尼崎汽船出帆　[illegible]
三社共同汽船出帆　[illegible]
朝鮮郵船　[illegible]
富の道しるべ　[illegible]


[illegible]